

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧  
P.2-5

< 第38週 > 百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同  
時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症  
P.6-12

< RSウイルス感染症 >  
例年冬季を中心としたピークがみられるが、2008年は比較的早期から患者  
報告数の立ち上がりがみられている  
< 腸管出血性大腸菌感染症 >  
第38週の報告数は131例であり、累積報告数は3,403例であった



病原体情報  
P.13-16

ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年 / B群コ  
クサッキーウイルス5型 2008年 / RSウイルス 2008年



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報  
P.17-18

ギニアビサウでのコレラの流行 / ギニアでの黄熱流行 / イラクで  
のコレラの流行



感染症の話  
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー  
< 今週は該当記事は  
ありません >



グラフ総覧(38週)  
P.20-25



38週のデータ  
P.26-38



# 発生動向総覧

2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

## < 第38週コメント > 9月24日集計分

### 全数報告の感染症

注意：これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

#### 1類感染症

報告なし

#### 2類感染症

結核196例

#### 3類感染症

細菌性赤痢6例 感染地域：中国2例、インドネシア1例、フィリピン1例、インド1例、タイ/カンボジア/インド1例

腸管出血性大腸菌感染症131例( 有症者53例、うちHUS 2例 )

感染地域：国内130例、韓国1例

国内の多い感染地域：岩手県58例<sup>1)</sup>、東京都10例、大阪府7例、佐賀県7例、宮城県5例、千葉県4例、兵庫県4例

集団発生：幼稚園に関連<sup>1)2)</sup>カ所の幼稚園で、うち56例( 第36 ~ 37週の17例とともに )

年齢群：0歳( 1例 )、1歳( 5例 )、2歳( 2例 )、3歳( 15例 )、4歳( 16例 )、5歳( 26例 )、6歳( 11例 )、7歳( 4例 )、8歳( 1例 )、9歳( 2例 )、10代( 8例 )、20代( 15例 )、30代( 7例 )、40代( 5例 )、50代( 2例 )、60代( 6例 )、70代( 5例 )

血清型・毒素型：O26 VT1( 66例 )、O157 VT1・VT2( 30例 )、O157 VT2( 19例 )、O121 VT2( 3例 )、O91 VT1( 2例 )、O103 VT1( 2例 )、O119 VT1( 1例 )、O165 VT2( 1例 )、O157 VT1( 1例 )、その他・不明( 6例 )

累積報告数：3,403例( 有症者2,241例、うちHUS 60例、死亡6例 )

腸チフス1例

感染地域：インド

#### 4類感染症

A型肝炎2例

感染地域：島根県1例、インド1例

デング熱2例

感染地域：フィリピン1例、カンボジア1例

日本紅斑熱2例

感染地域：三重県1例、鹿児島県1例

マラリア1例

熱帯熱\_\_感染地域：マダガスカル

レジオネラ症10例( 肺炎型10例 )

感染地域：愛知県2例、滋賀県2例、神奈川県1例、三重県1例、大阪府1例、高知県1例、福岡県1例、国内( 都道府県不明 )1例

年齢群：40代( 1例 )、50代( 2例 )、60代( 1例 )、70代( 3例 )、80代( 3例 )

レプトスピラ症4例

感染地域：沖縄県3例\_\_感染原因：川2例、不明1例

感染地域：東京都1例\_\_感染原因：ネズミの尿と接触

5類感染症

アメーバ赤痢9例( 腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症1例、腸管及び腸管外アメーバ症2例 )

感染地域: 東京都1例、神奈川県1例、福井県1例、長野県1例、愛知県1例、大阪府1例、国内( 都道府県不明 )1例、中国1例、国内・国外不明1例

感染経路: 経口感染1例、性的接触5例( 異性間1例、同性間3例、異性間・同性間不明1例 )、不明3例

急性脳炎2例 病原体不明2例\_\_年齢群: 2歳( 1例 )、10代( 1例 )

クロイツフェルト・ヤコブ病3例

孤発性プリオン病古典型2例

遺伝性プリオン病ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病1例

劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

年齢群: 40代

後天性免疫不全症候群19例( AIDS 8例、無症候8例、その他3例 )

感染地域: 国内19例

感染経路: 性的接触17例( 異性間8例、同性間8例、異性/同性間1例 )、不明2例

梅毒6例( 早期顕症11期5例、無症候1例 )

バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例

遺伝子型: *VanB* 1例\_\_菌検出検体: 胸水、腹水、尿

遺伝子型: *VanC* 1例\_\_菌検出検体: 血液

風しん1例( 検査診断例 )

感染地域: 東京都\_\_年齢群: 40代

麻しん15例〔麻しん( 検査診断例3例、臨床診断例7例 )、修飾麻しん( 検査診断例5例 )〕

感染地域: 国内15例

国内の多い感染地域: 茨城県2例、千葉県2例、大阪府2例、福岡県2例

年齢群: 0歳( 2例 )、1歳( 3例 )、10~14歳( 1例 )、15~19歳( 2例 )、20~24歳( 1例 )、25~29歳( 2例 )、30~34歳( 1例 )、35~39歳( 2例 )、60代( 1例 )

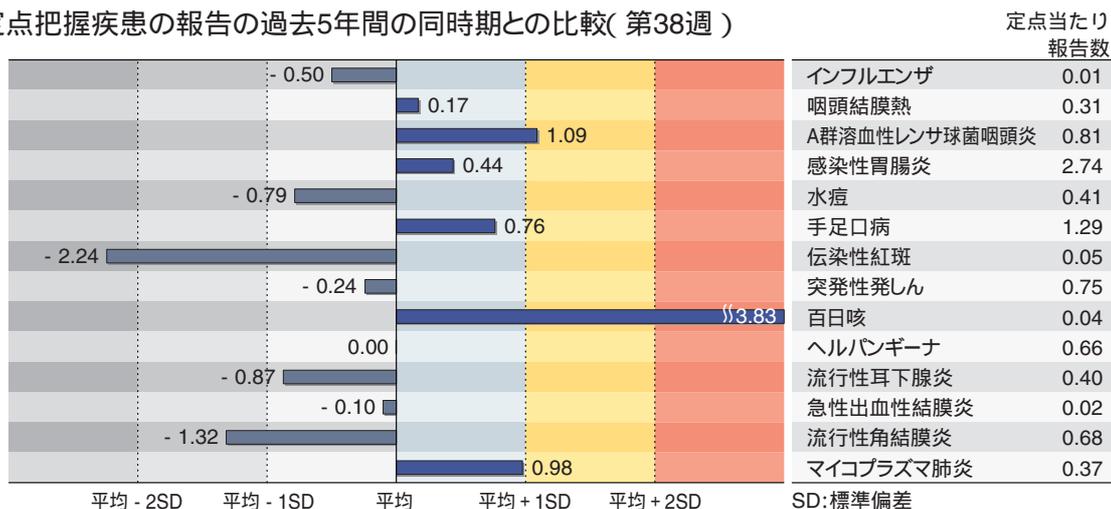
累積報告数: 10,794例〔麻しん( 検査診断例3,106例、臨床診断例6,709例 )、修飾麻しん( 検査診断例979例 )〕

( 補 )他にマラリア1例の報告があったが削除予定。また、2008年第37週までに診断されたものの報告遅れとして、デング熱1例( 感染地域: インド )、マラリア1例( 三日熱\_\_感染地域: インド )、レプトスピラ症2例( 感染地域: 沖縄県1例\_\_感染原因: 不明、感染地域: 静岡県1例\_\_感染原因: 川 )、急性脳炎1例( 病原体不明( 60代 ) )、クリプトスポリジウム症1例( 感染地域: 国内( 都道府県不明 ) )、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例( 60代 . 死亡 )などの報告があった。

## 定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関( 定点 ) から報告され、疾患により小児科定点( 約3,000カ所 )、インフルエンザ( 小児科・内科 ) 定点( 約5,000カ所 )、眼科定点( 約600カ所 )、基幹定点( 約500カ所 ) に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較( 第38週 )



当該週と過去5年間の平均( 過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均 ) との差をグラフ上に表現した。

### インフルエンザ

定点当たり報告数は微減した。都道府県別では沖縄県( 0.29 )、栃木県( 0.05 )が多い。

#### 小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症は919例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第35週以降減少が続いている。都道府県別では鹿児島県( 0.84 )、宮崎県( 0.81 )、静岡県( 0.80 )が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期( 前週、当該週、後週 ) と比較してやや多い。都道府県別では鳥取県( 1.79 )、大分県( 1.58 )、富山県( 1.52 )が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では福井県( 5.8 )、宮崎県( 5.4 )、大分県( 5.3 )が多い。

水痘の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では宮崎県( 1.06 )、鳥取県( 1.00 )、山形県( 0.83 )が多い。

手足口病の定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では新潟県( 6.0 )、熊本県( 3.0 )、北海道( 2.6 )が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では広島県( 0.14 )、千葉県( 0.13 )、福島県( 0.10 )、新潟県( 0.10 )が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では秋田県( 0.17 )、千葉県( 0.10 )、広島県( 0.10 )が多い。

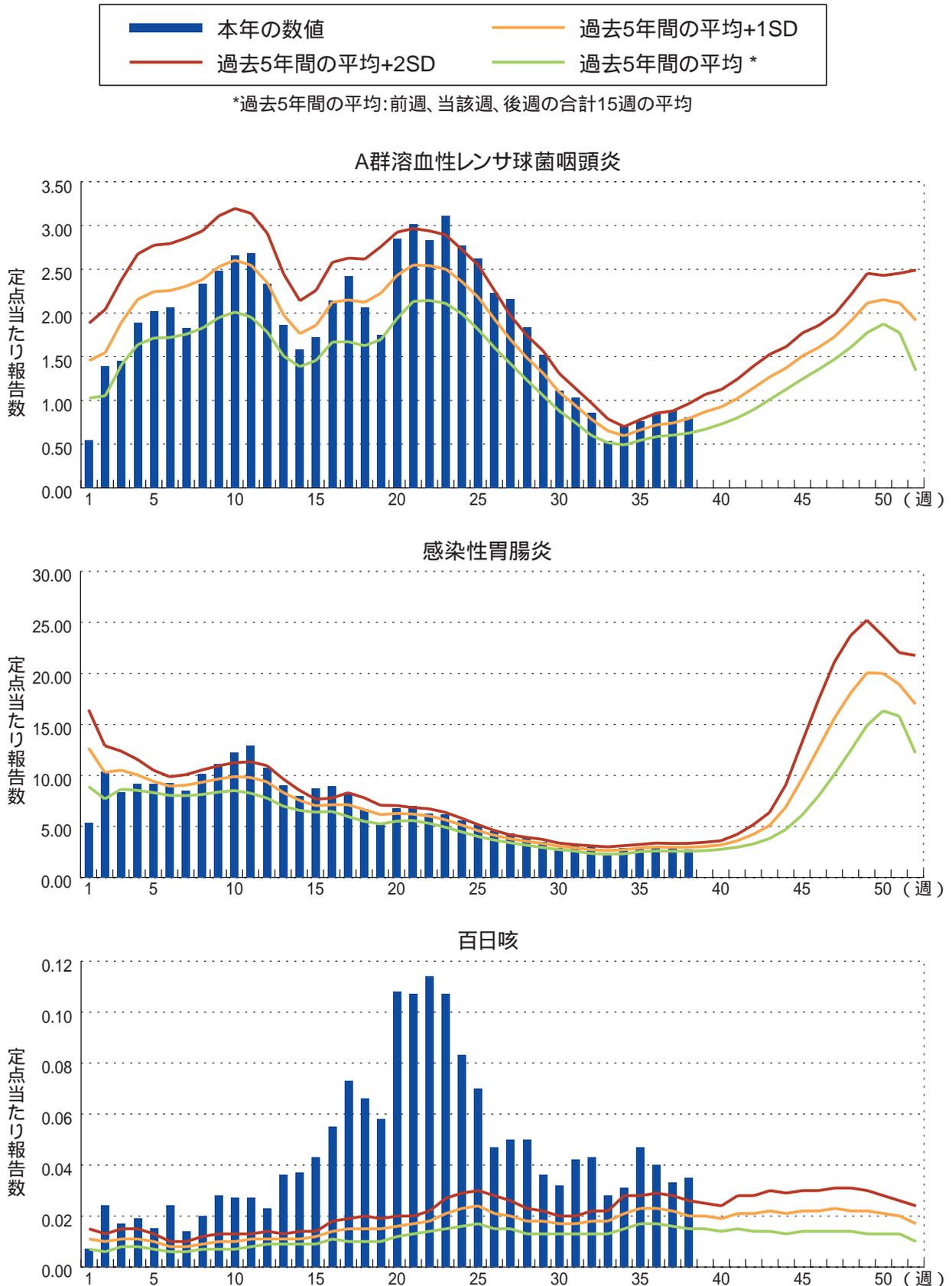
ヘルパンギーナの定点当たり報告数は2週連続で減少した。都道府県別では山形県( 3.1 )、新潟県( 2.5 )、北海道( 1.9 )が多い。

流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では宮崎県( 1.72 )、高知県( 1.30 )、群馬県( 1.16 )が多い。

#### 基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県( 2.57 )、宮城県( 2.25 )、富山県( 2.20 )が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較( 2008年第1 ~ 38週 )  
 青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





# 注目すべき感染症

## RSウイルス感染症

RSウイルス感染症( respiratory syncytial virus infection )は、病原体であるRSウイルスが感染者の鼻汁、喀痰などから接触感染、あるいは飛沫感染により伝播する呼吸器感染症である。年齢を問わず、生涯にわたり顕性感染を繰り返すが、乳幼児期においては非常に重要な疾患である。特に乳児期早期においては、母体からの移行抗体が存在するにもかかわらず、生後数週間～数カ月間の時期に下気道の炎症を中心とした重篤な症状を引き起こす。乳幼児の肺炎の約50%、細気管支炎の50～90%を占めるとの報告もある。また、低出生体重児や、心肺系に基礎疾患があったり、免疫不全が存在する場合には重症化のリスクは高く、临床上、公衆衛生上のインパクトは大きい。

特異的な治療法はなく、基本的には酸素投与、呼吸管理、輸液などの対症療法が中心である。予防としては、数十年間にわたってワクチン開発の努力が続けられているが、依然としてまだ研究段階である。現在利用可能な予防方法としては、遺伝子組み換え技術を用いて作成された単クローン抗体製剤( Palivizumab : パリビズマブ )が2002年1月に輸入認可されており、早産児や慢性肺疾患を持つ小児などのハイリスク児に対しては、流行初期から流行期の間、1カ月毎に予防的な投与が考慮される。

RSウイルス感染症の発生動向については、感染症法改正( 2003年11月5日施行 )により対象疾患となり、小児科定点把握疾患に位置づけられた。診断は臨床症状のみでは不可能であることから、届出基準としてウイルスの分離・同定、迅速診断キットによる抗原検出、血清抗体検出( 中和反応または補体結合反応 )による病原検査が必須とされている。しかし、臨床現場で最も簡便な迅速診断キット検査については、保険適応が3歳未満の入院症例に限定されていたので、当初より届出されていない例もかなり多いと考えられていた。その後2006年4月からは、保険適応の年齢制限は撤廃されたが、依然として入院例のみが対象であり、全国約3,000の小児科定点医療機関の70%以上を占める病院以外の一般医療機関では多くの症例が診断に至らずに報告されていないものと推察される。このようにRSウイルス感染症の発生動向調査には大きな制約があり、現状を正確に反映しているとは必ずしも言えないが、年々その報告数は増加してきており、また2008年は過去の発生動向よりも早期に報告数の増加が顕著となってきたので、最近の発生動向データを以下にまとめた。

RSウイルス感染症の小児科定点医療機関からの報告数は、例年冬季を中心としたピークがみられているが、2008年は第38週の報告数は919例と前週より減少がみられたものの、比較的早期から患者報告数の立ち上がりが見られ、第28週以降前週( 第37週 )までは報告数の増加が続いていた( 図1 )。2008年第1～38週までの小児科定点医療機関からの累積報告数は21,476例であり、都道府県別でみると福岡県2,633例、大阪府1,942例、北海道1,696例、山口県1,082例、兵庫県1,052例、福島県1,040例の順となっている。特に福岡県や大阪府からの報告数が多くなっている( 図2 )。累積報告数を年齢群別でみると、0歳児46.3%( 0～5カ月22.6%、6～11カ月23.7% )、1歳児30.0%、2歳児12.5%、3歳児5.7%、4歳児2.8%の順であり、4歳以下で全報告数の95%前後を占めているのは、2004年以降変わっていない( 図3、図4 )。

図1. RSウイルス感染症の年別・週別発生状況( 2003年第45週 ~ 2008年第38週 )

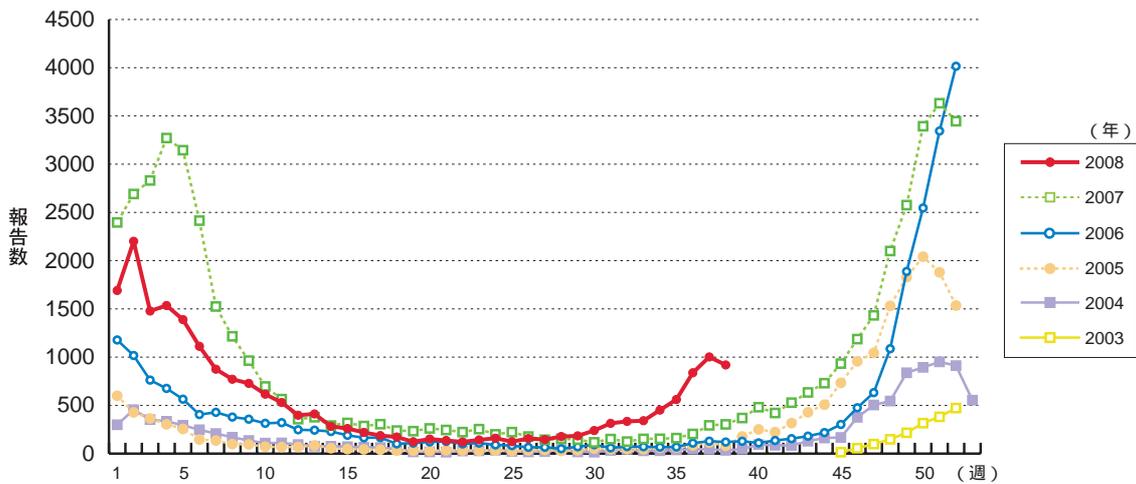


図2. RSウイルス感染症の都道府県別累積報告状況( 2008年第1 ~ 38週 )

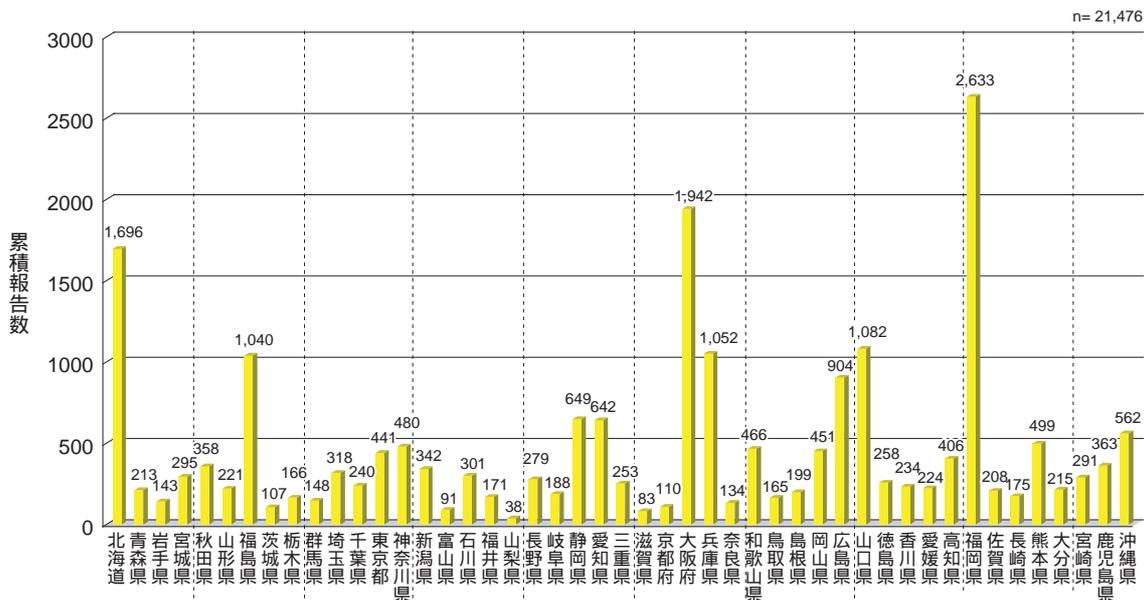


図3. RSウイルス感染症小児科定点の累積報告数年齢群別割合( 2008年第1 ~ 38週 )

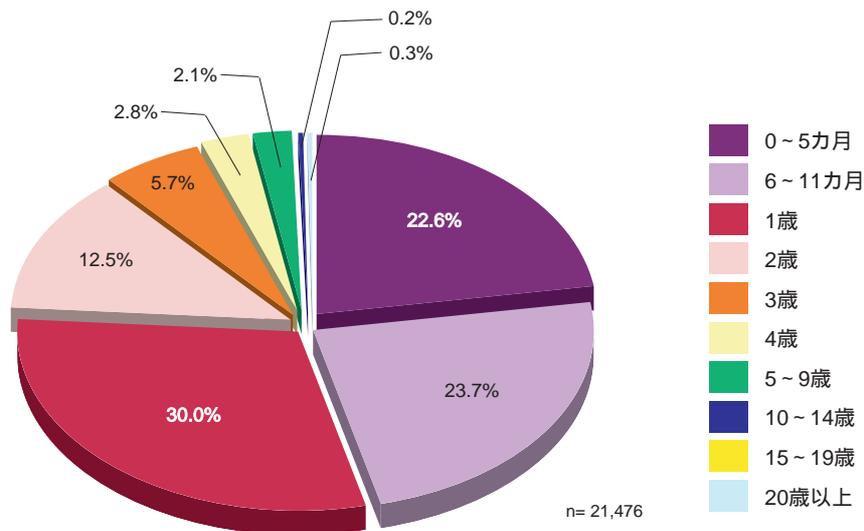
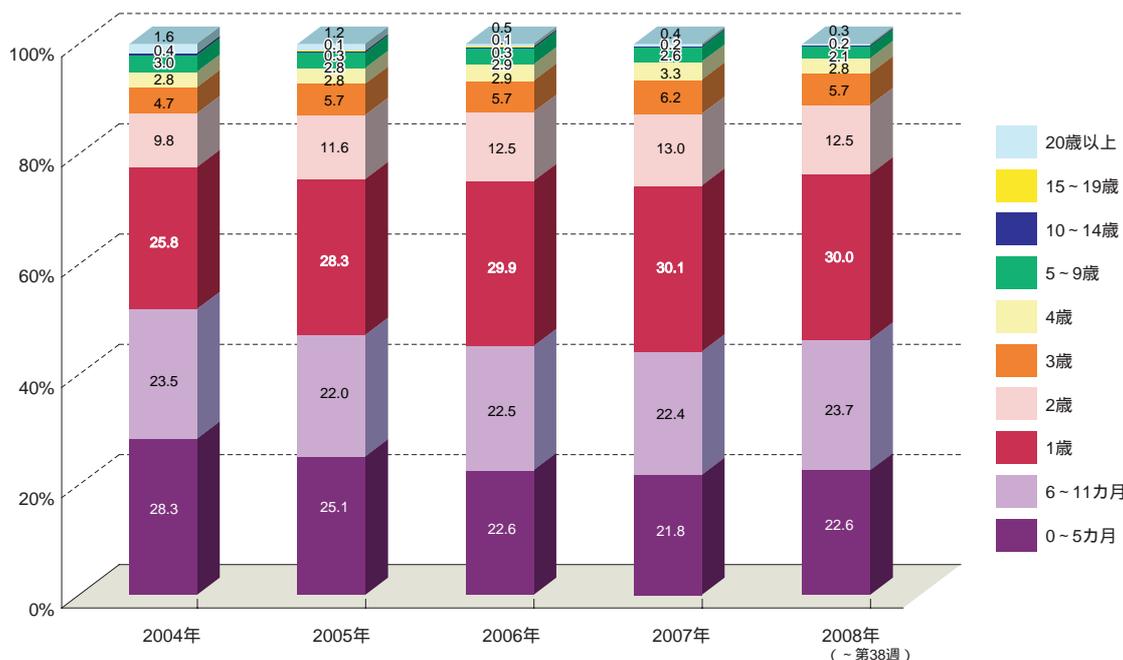


図4. RSウイルス感染症の年別・年齢群別割合( 2004年 ~ 2008年第38週 )

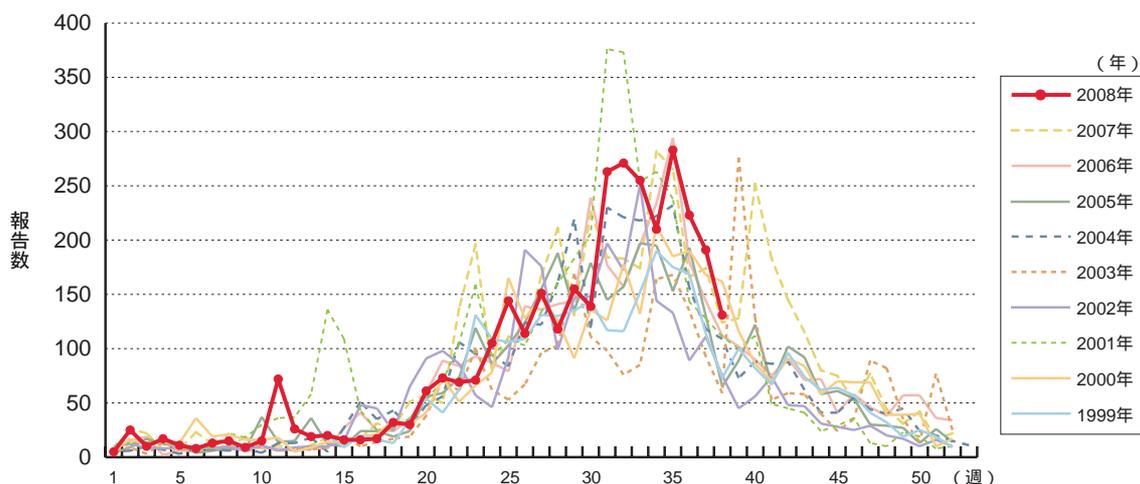


前述したように、RSウイルス感染症は、迅速診断キットの保険適応が入院症例に限られているため、全ての小児科定点から報告されていない可能性が高く、発生動向調査結果が正確に実状を把握しているとは言い難い。しかし、2008年は患者報告数の立ち上がりの時期が例年と比べて早く、今後の発生動向には注意が必要である。同疾患の臨床的、公衆衛生的インパクトの大きさを考慮すれば、今後早期に入院以外の症例に対しても速やかに診断がなされるようにすべきであると思われる。

## 腸管出血性大腸菌感染症 (2008年9月24日現在)

2008年の腸管出血性大腸菌感染症報告数は、第11(～13)週に、オーストラリアへ修学旅行に行った高校生(76例)の集団発生があり一時的に増加した。その後、第18週から徐々に増加し始め、第24週に100例を超えた。第24～30週はほぼ100～150例で推移していたが、第31週に大きく増加し250例を超えた。第35週の283例をピークとして、第36週223例、第37週191例、第38週は131例であった。第38週までの累積報告数3,403例は、2000年以降では2番目に多い(2000年2,790例、2001年3,916例、2002年2,727例、2003年2,004例、2004年3,031例、2005年2,805例、2006年3,054例、2007年3,354例)(図1)。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症の年別・週別発生状況(1999年第14週～2008年第38週)



第38週(9月15～21日診断のもの)の報告131例は、患者(有症状者)が53例(40%)で、無症状病原体保有者78例(60%)であった。28都道府県から報告があり、都道府県別では、岩手県(58例)東京都(11例)大阪府(7例)佐賀県(7例)千葉県(6例)宮城県(5例)兵庫県(5例)が多かった。感染地域は国内130例、国外1例(韓国)であった。国内の感染地域としての都道府県別では、岩手県(58例)東京都(10例)大阪府(7例)佐賀県(7例)宮城県(5例)千葉県(4例)兵庫県(4例)が多かった。岩手県(第36週の発生)では幼稚園に関連した集団発生があった。性別では男性69例、女性62例で、年齢群別では0～9歳83例、20～29歳15例、10～19歳8例の順に多かった。

第1～38週(2007年12月31日～2008年9月21日診断のもの)の累積報告3,403例は、患者が2,241例(66%)、無症状病原体保有者が1,162例(34%)であった。報告はすべての都道府県からあり、報告の多い都道府県は、東京都(305例)大阪府(208例)福岡県(186例)岩手県(149例)千葉県(142例)神奈川県(139例)長崎県(127例)愛知県(125例)兵庫県(115例)であった(図2)。感染地域は国内が3,303例、国外が95例、国内か国外か不明が5例であり、国内の感染地域としての都道府県別では、東京都(247例)大阪府(203例)福岡県(170例)岩手県(153例)長崎県(125例)千葉県(120例)の順が多かった。性別では男性1,578例、女性1,825例であり、年齢群別では0～9歳1,269例(うち患者70%)、10～19歳528例(同78%)、20～29歳520例(同75%)、30～39歳342例(同43%)、40～49歳189例(同43%)、50～59歳237例(同48%)、60～69歳152例(同55%)、70～79歳93例(同71%)、80～89歳65例(同78%)、90～99歳8例(同75%)であった(図3)。



血清群・ベロ毒素抗体( VT型別 )では、O157 VT1・VT2 22例、O157 VT2 18例、O111 VT1・VT2 1例、O121 VT2 1例、O157 VT2とO26 VT1の両方1例であり、血清抗体( O抗原凝集抗体 )により診断されたもののO血清群は不明の3例を除いてすべてO157であった。60例中、感染経路として飲食物の経口感染とされたものは38例あり、飲食物の種類として、生肉・生レバー9例、焼肉6例、バーベキュー3例、生せんまい( 牛の胃 )2例、ステーキ1例などが挙げられていた。HUS発症者60例のうち肉類の生での喫食者( 11例 )は18.3%( 経口感染例38例に限ると28.9% )であり、加熱不十分であったとの記載がある1例を加えると20.0%( 同31.6% )となり、焼肉・バーベキューなど肉に関連するものの喫食者全体は35.0%( 同55.3% )であった。

死亡例は第38週までに6例が報告された。2歳男性( O157 VT2 .HUS発症 )、10代女性( O157 VT1・VT2 .HUS発症 )、60代女性( O157 VT2 )、80代男性( O157 VT2 )、80代女性( O157 VT2 .HUS発症 )、80代女性( O157 VT1・VT2 .HUS発症 )である。死亡例のうち4例がHUSを発症しており、HUS発症例( 60例 )の致死率は6.7%となる。

表. 腸管出血性大腸菌感染症の溶血性尿毒症症候群( HUS )  
の年齢群別報告数( 2008年第1 ~ 38週 )

	総届出数	患者	HUS	HUS/患者
0 ~ 4歳	768	535	29	5.42%
5 ~ 9歳	501	354	15	4.24%
10 ~ 14歳	252	204	8	3.92%
15歳以上	1,882	1,148	8	0.70%
総計	3,403	2,241	60	2.68%

腸管出血性大腸菌感染症は、わが国において、毎年約3,000 ~ 4,500例の発生が続いている。第38週までの本年の発生状況を見ると、全国報告数としては第36週以降減少が続いているが、岩手県など一部の地域では集団発生の影響で増加が認められている。第38週までの累積報告数は、2000年以降の過去8年間の同時期までの発生数との比較では、2001年に次いで2番目に多い報告数となっている。

重症の合併症であるHUSは60例の報告となり、患者の2%以上、5歳未満に限れば5%以上に合併している。また、死亡例は前述のようにHUS発症例4例を含み、6例報告されている。

また、近年、生肉や生レバーが感染源と見られる届出が多く認められている。感染経路や感染源の推定・確定は、本症の潜伏期間が2 ~ 14日と比較的長いこともあり、はっきりしないことも多いが、本年第1 ~ 38週までの累積報告3,403例の感染原因をみると、飲食物の経口感染と報告されたものが1,413例あり、このうち生肉・生レバー・生せんまいが198例( 経口感染例中14.0% )、焼肉・バーベキューを含めると肉類の喫食に関連するものは389例( 同27.5% )であった。前述のようにHUS発症者ではこの割合はさらに高い可能性も考えられ、特に小児、高齢者や抵抗力の弱い者などでは、肉・レバーなどはよく加熱し、生食は控える必要がある。食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。

その他として、最近では自治体をまたいだ広域発生事例も散見されており、食材・食品の流通の観点も併せ、事例調査と対策における自治体間の連携は、今後ますます重要となってきている。

( 補 ) 腸管出血性大腸菌感染症については、

週報IDWR

- ・ 感染症の話 : [http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02\\_g1/k02\\_06/k02\\_06.html](http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/k02_g1/k02_06/k02_06.html)
- ・ 注目すべき感染症
  - 第25号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-25.pdf>
  - 第27号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-27.pdf>
  - 第29号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-29.pdf>
  - 第30号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-30.pdf>
  - 第31号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-31.pdf>
  - 第32号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-32.pdf>
  - 第33号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-33.pdf>
  - 第34号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-34.pdf>
  - 第35号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-35.pdf>
  - 第36号 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-36.pdf>
- ・ 速報「 修学旅行先において腸管出血性大腸菌( EHEC )O26に感染したと思われる事例 - 佐賀県 」 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-20.pdf>
- ・ 速報「 焼肉店が原因施設とされた腸管出血性大腸菌O157 : H7食中毒事例 - 福井県 」 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-21.pdf>
- ・ 速報「 修学旅行先において腸管出血性大腸菌O26に感染したと思われる事例 - 藤沢市 」 : <http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/idwr/idwr2008/idwr2008-34.pdf>

月報IASR

- ・ < 特集 > 「 腸管出血性大腸菌感染症 2008年4月現在 」 : <http://idsc.nih.go.jp/iasr/29/339/tpc339-j.html>
- 菌の検出状況 : <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-lj.html>

などもご参照ください。



## 病原体情報

\* グラフはIASRホームページ( <http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html> )からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所( 地研 )からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

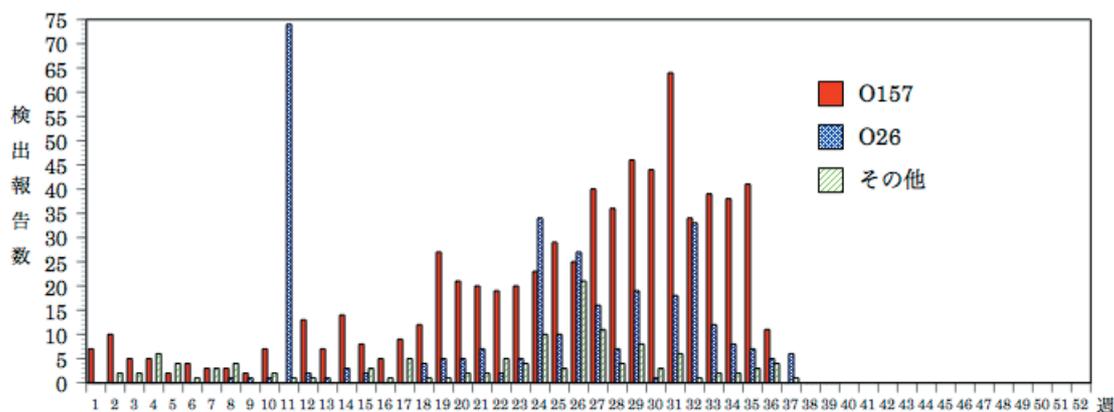
( 2008年9月25日現在報告分 )

### ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2008年

2008年の検出総数は1,139件で、O157が693件、O26が317件、その他の血清型が129件報告されている。O157は大阪府86件、岐阜県48件、石川県47件、福岡県41件、群馬県35件、富山県29件、東京都28件、山形県27件、静岡県、三重県各25件、山口県、愛媛県各24件、滋賀県、佐賀県各23件、長野県、奈良県、広島県各22件、千葉県21件、埼玉県16件、宮崎県13件、宮城県12件、新潟県11件など35都道府県から報告されている。O26は佐賀県76件、東京都63件、富山県37件、神奈川県26件、山形県、新潟県各13件、石川県12件、群馬県、静岡県各11件など25都道府県から、その他の血清型は山形県22件、福岡県18件、千葉県15件など23都道府県から報告されている。

直近の4週間に発生した集団事例では、第35週に佐賀県の保育園児とその家族の集団発生からO157が検出されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌分離報告数、2008年 (病原微生物検出情報：2008年9月25日現在報告数)



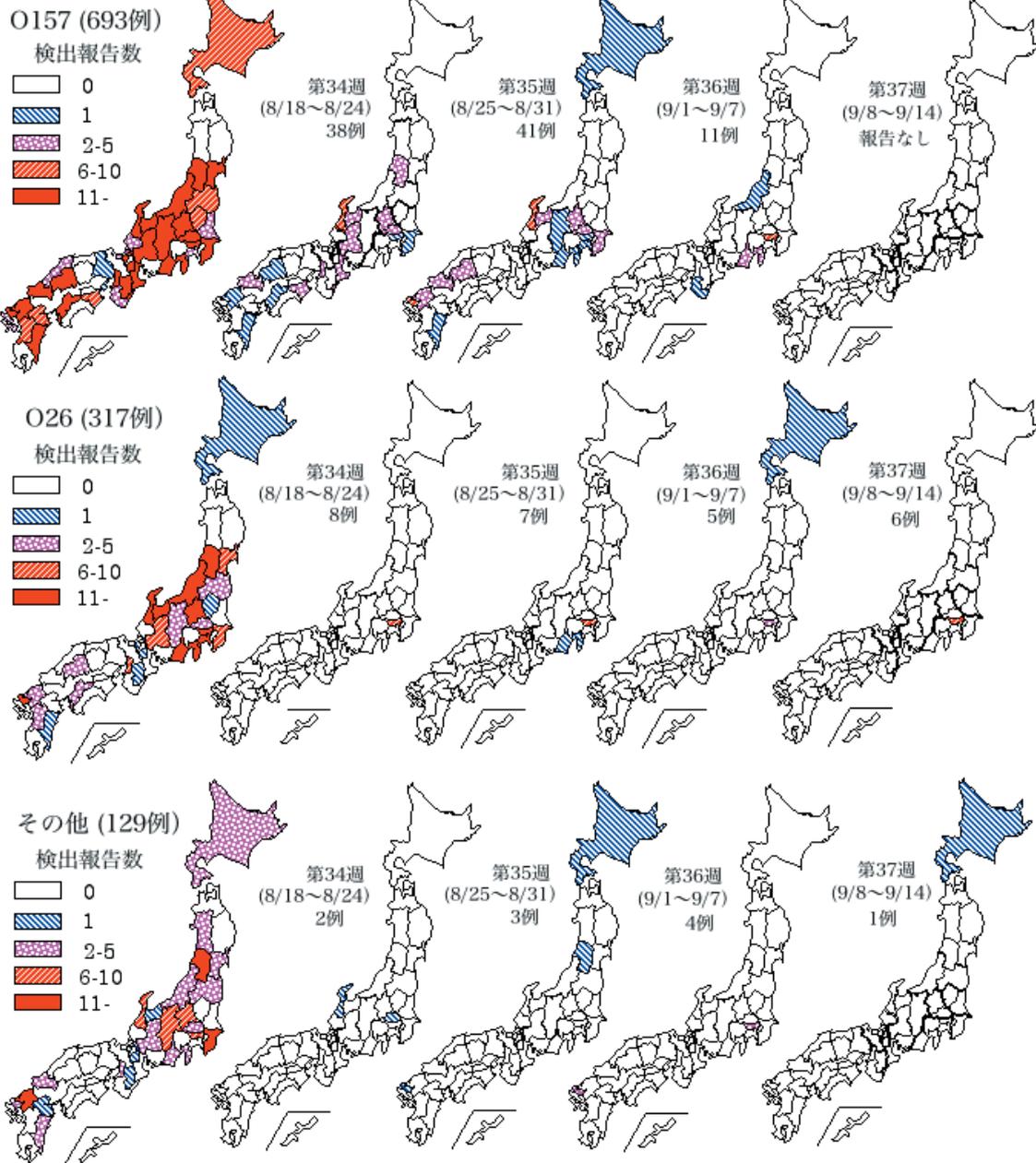
\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

週別都道府県別Vero毒素産生性大腸菌分離報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年9月25日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

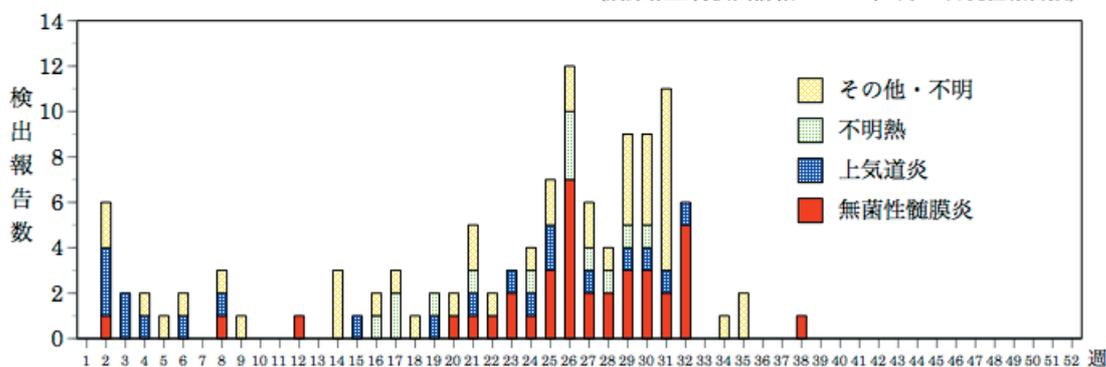


### B群コクサッキーウイルス5型 2008年

2007年に引き続き、2008年夏もB群コクサッキーウイルス(CB 5型)の分離・検出が増加しており、第38週までに福岡県20件、愛媛県18件、山形県17件、大阪府14件、兵庫県9件、京都府8件など、19都府県から計114件が報告されている。CB5検出例の診断名は無菌性髄膜炎37件、上気道炎20件、不明熱13件、ヘルパンギーナ12件、感染性胃腸炎9件、インフルエンザ・インフルエンザ様疾患・かぜ症候群5件、下気道炎3件、咽頭結膜熱、発疹症各2件、その他・不明11件が報告されている。

週別Coxsackievirus B5分離・検出報告数、2008年

(病原微生物検出情報：2008年9月25日現在報告数)



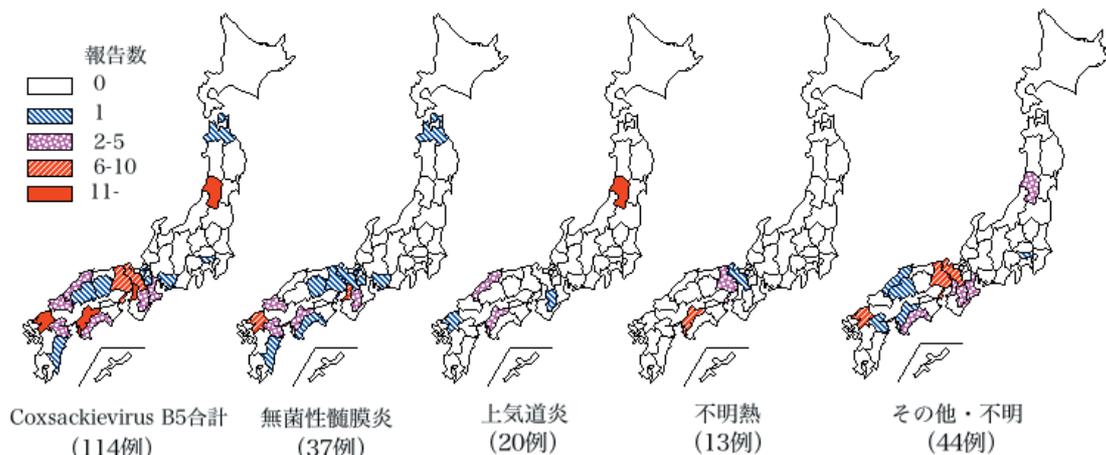
\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別診断名別Coxsackievirus B5分離・検出報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年9月25日現在報告数)



\*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

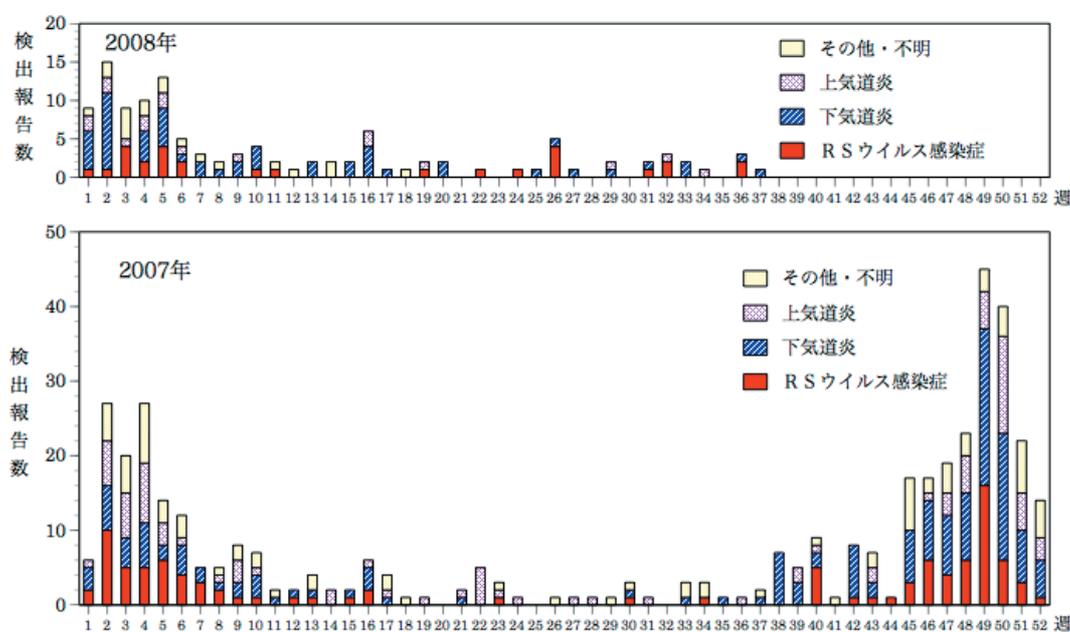


Infectious Agents Surveillance Report

## Respiratory syncytial( RS )ウイルス 2008年

RSウイルスは秋～冬に流行がみられる。2008年に入ってから前年同期より数は少ないが、春～夏にも分離・検出が報告されている。2008年第37週までに大阪府33件、千葉県16件、東京都13件、山形県12件、徳島県、愛媛県各9件、秋田県6件など17都府県から116件が報告されている。検出例の診断名はRSウイルス感染症27件、下気道炎53件、上気道炎17件、不明熱・熱性けいれん6件、インフルエンザ・インフルエンザ様疾患5件、感染性胃腸炎2件、咽頭結膜熱、急性脳炎各1件、その他・不明4件が報告されている。

週別Respiratory syncytial virus分離・検出報告数、2007&2008年 (病原微生物検出情報：2008年9月25日現在報告数)

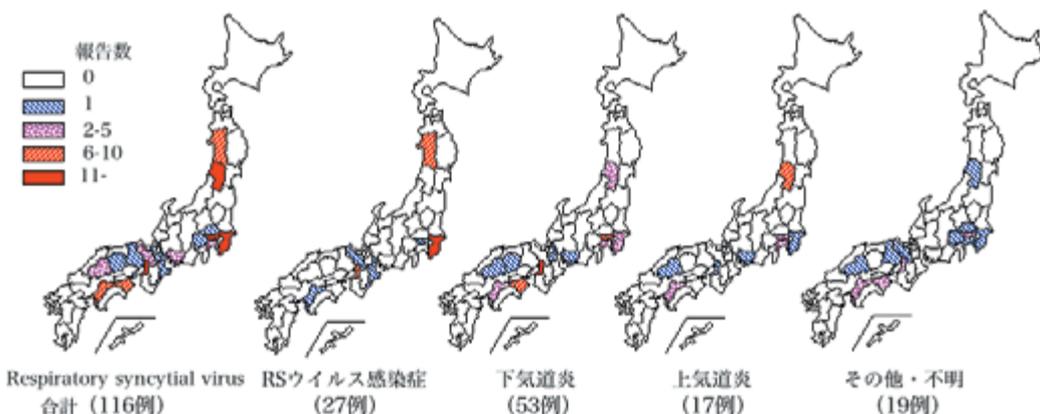


\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を因に示した。



都道府県別診断名別Respiratory syncytial virus分離・検出報告状況、2008年

(病原微生物検出情報：2008年9月25日現在報告数)



\* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を因に示した





## 海外感染症情報

### ギニアビサウでのコレラの流行

WHO/EPR 2008年9月24日

2008年5月初旬から、ギニアビサウでは、コレラが大規模に流行している。9月21日現在、全国から、7,166症例が報告され、そのうち、133名が死亡している。致死率は、全体では1.9%だが、入院症例に限ると1%未満である。しかし、地方では、コレラを発病しても迅速に治療が受けられないことから、致死率は9%に達している。一方で、首都Bissauからの症例は全報告数の70%以上を占めるものの、全死亡者の31%しか占めない。患者数が多い地域は、Bissau、Biombo、Oioである。ギニアビサウでは、コレラが繰り返し流行し、2005～2006年には25,111名が感染し、うち399名が死亡した。

多くの国内外の関連機関が、ギニアビサウの保健省を支援している。国境なき医師団スペイン支部( MSF-Spain )はコレラ治療センターを担当しており、系統的な患者訪問を行うことでより早期に診断・治療がなされるよう、地域の能力強化を図っている。UNICEFは、飲用水と衛生管理が必要な地域へ、技術的専門家の派遣と物資の調達を行っている。WHOは疫学者を派遣しており、米国CDCチームも、疫学的調査が必要な流行地へ派遣されている。コレラが発生する可能性のある場所では、住民に対する啓発活動、公衆衛生教育や、コレラについて偏見をもたないようにする為の教育も強化されている。

コレラは、主に汚染された水や食べ物を介して感染し、不衛生な環境と密接に関連している。ギニアビサウの多くの地域では、基本的な社会基盤がほとんど機能していない。水や汚水処理の質も非常に悪いため、コレラの感染が拡大している。長期的なコレラの予防には、清潔な飲料水が供給されることと、コレラへの暴露と感染経路を断つための、適切な汚水処理がなされることが必要である。また、感染拡大を防ぐために、死亡したコレラ患者を扱う際には感染予防に十分注意し、葬式の前には適切に消毒する。

WHOはコレラ流行地域への旅行、貿易に関して、感染予防としての渡航制限を勧告していない。

### ギニアでの黄熱流行

WHO/EPR 2008年9月29日

ギニア保健省は、Dakarのパスツール研究所で検査診断された黄熱の2症例を、それぞれ8月20日と9月12日に報告した。最初の症例はNzerekore州、Bounouma在住の24歳の男性で、7月26日に発症し、8月4、5日に血液検体が採取された。2症例目は、Nzerekore州のUrbain Commune在住の24歳男性で、どちらの症例も黄熱ワクチンの接種歴はなかった。

ギニア保健省とWHOの専門家で構成された調査チームは、9月5日から14日にかけて、Nzerekore州の10の地域( sub-prefectures )とUrbain Commune、およびLola州の2地域( sub-prefecture )を調査した。

その結果、1) 後向き調査で14の疑い症例が認められ、そのうち1例は発熱と黄疸を呈して死亡していた。2) 多くの件では2005年に黄熱ワクチンの接種をおこなっており、接種率は95.2%だった。3) 唯一、低い接種率( 45% )だった地域は、Bounouma地域のUrbain Communeとthe Ivorian Refugee Camp of Kouankan ( コートジボアール難民キャンプ )であった。

これらの結果に基づいて、保健省は、10月に、3つの地区の計約14万人を対象とした大規模なワクチンキャンペーンを実施することを決めた。このキャンペーンは、WHOの技術的支援と、“ワクチンと予防接種のための世界同盟( the GAVI alliance: the Global Alliance for Vaccines and Immunization )”の支援の元に行われる。

### イラクでのコレラの流行

WHO/EPR 2008年9月29日 - 更新

イラク政府は、2008年8月20日に、今年初めてのコレラ患者を報告した。9月28日までに、死亡患者5例を含む、計341例の検査診断例が確認されていた(致死率1.5%)。これまで9つの州で流行があったが、大半の患者(58%)はBabilからの報告である。続いて、Baghdad(18%)、Kerbala(9%)となっている。その他にも、Anbar, Basra, Diala, Diwanyia, Misan, Najafなどの州からコレラ患者の報告がある。

確定診断がなされた症例以外にも、疑い例が31例あり、現在調査中である。また、コレラ様の水様性下痢を呈して死亡した患者が7例あった。

今年の流行は、2007年のものよりは規模が小さいようだが、今後も流行が繰り返す可能性はある。このため、今回の流行が終息したと考えるのは時期尚早である。安全な飲料水と適切な汚水処理が、イラク全土に行き渡らない限り、コレラの流行は今後も繰り返すだろう。

イラク保健省の要請に基づき、WHOは現地で技術的支援を行っており、UNICEFとも協力して、水や汚水処理対策の専門家が対策に当たる予定である。

WHOは、流行地域を行き来する旅行と貿易活動に対して、いかなる制限も勧告しない。しかし、近隣諸国に対して、積極的疫学調査と予防策の強化が勧められる。予防的な抗菌薬の投与は、効果が全くないばかりではなく、耐性菌の発生や、抗菌薬内服で予防可能、といった誤った認識につながる恐れもあるため、厳に慎むべきである。WHOは、効果が低いことと、重篤な副作用があることから、注射用コレラワクチンの使用を薦めていない。



## 感染症の話

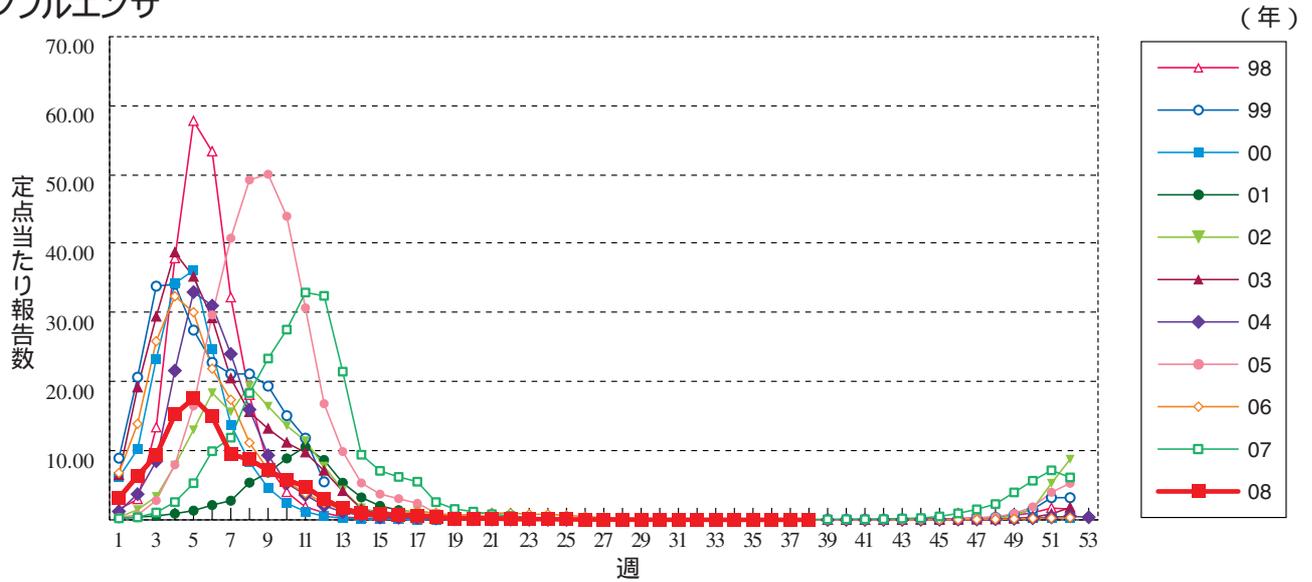
\*\*\*\*\*

今週はお休みさせていただきます。  
「感染症の話」過去の掲載分については  
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>  
でご覧いただけます。

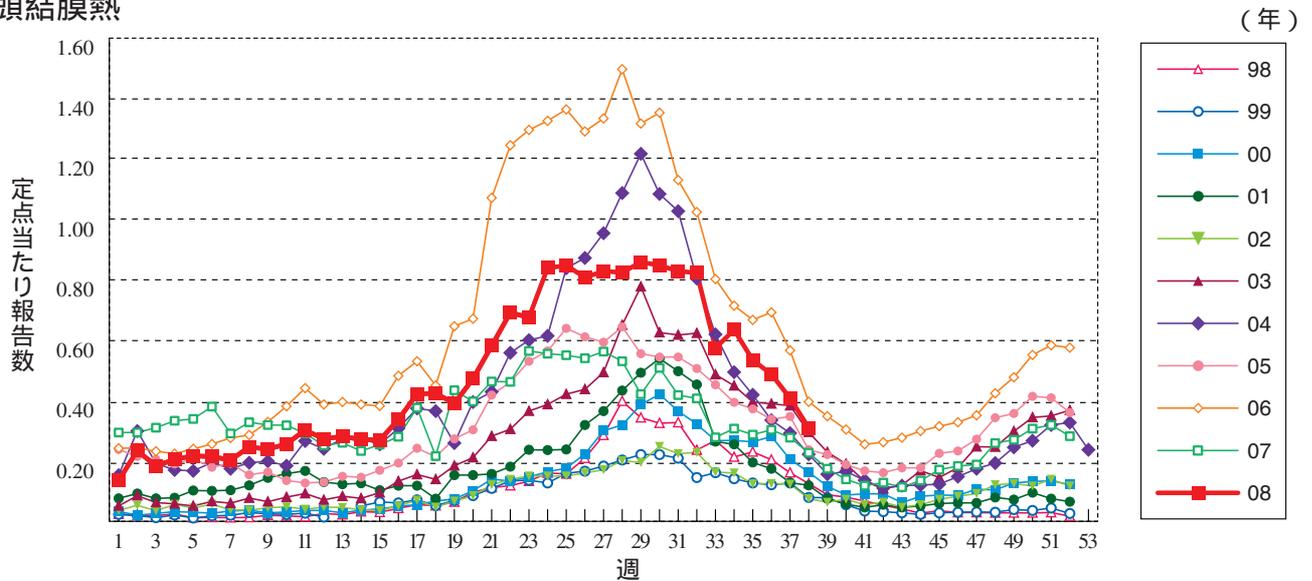
\*\*\*\*\*

**グラフ総覧(38週)**

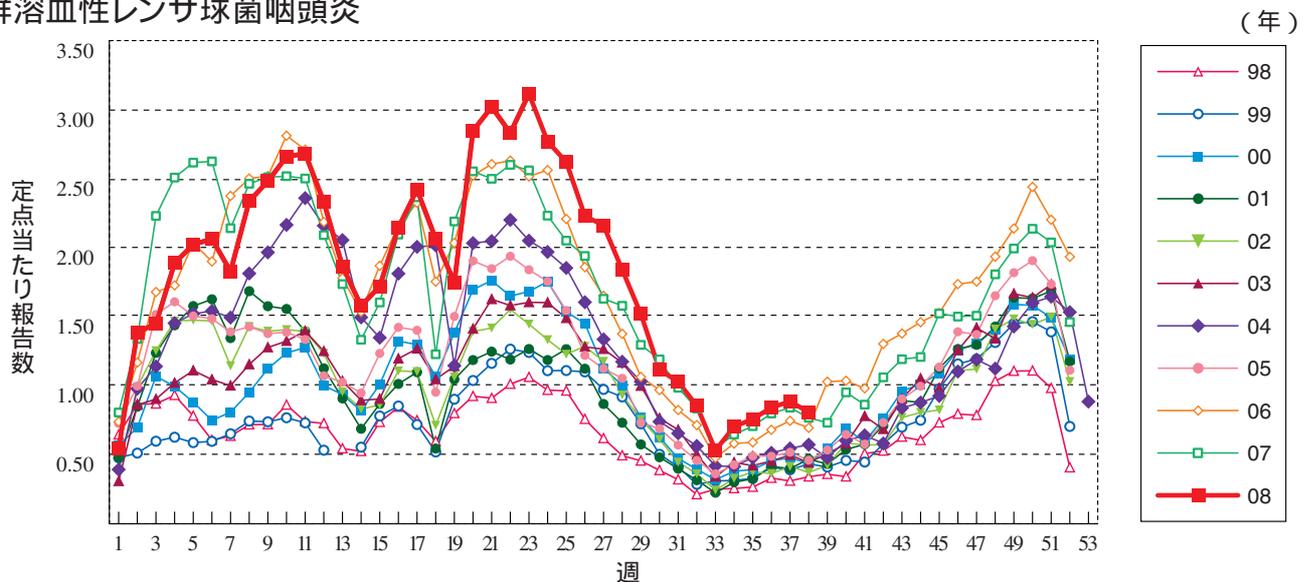
**インフルエンザ**



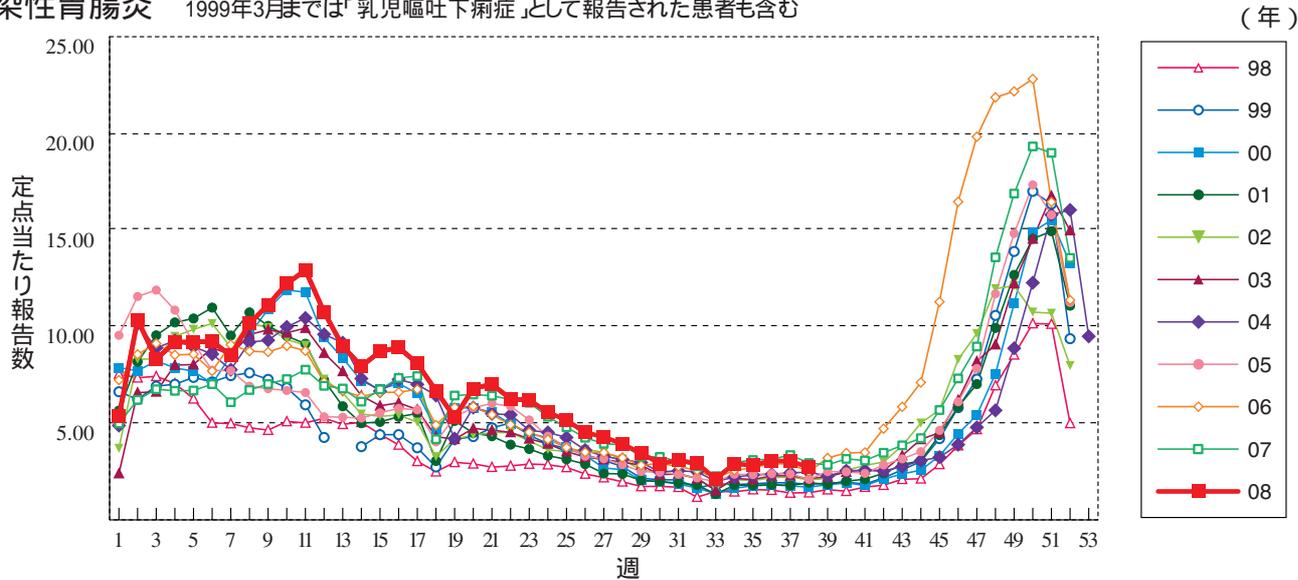
**咽頭結膜熱**



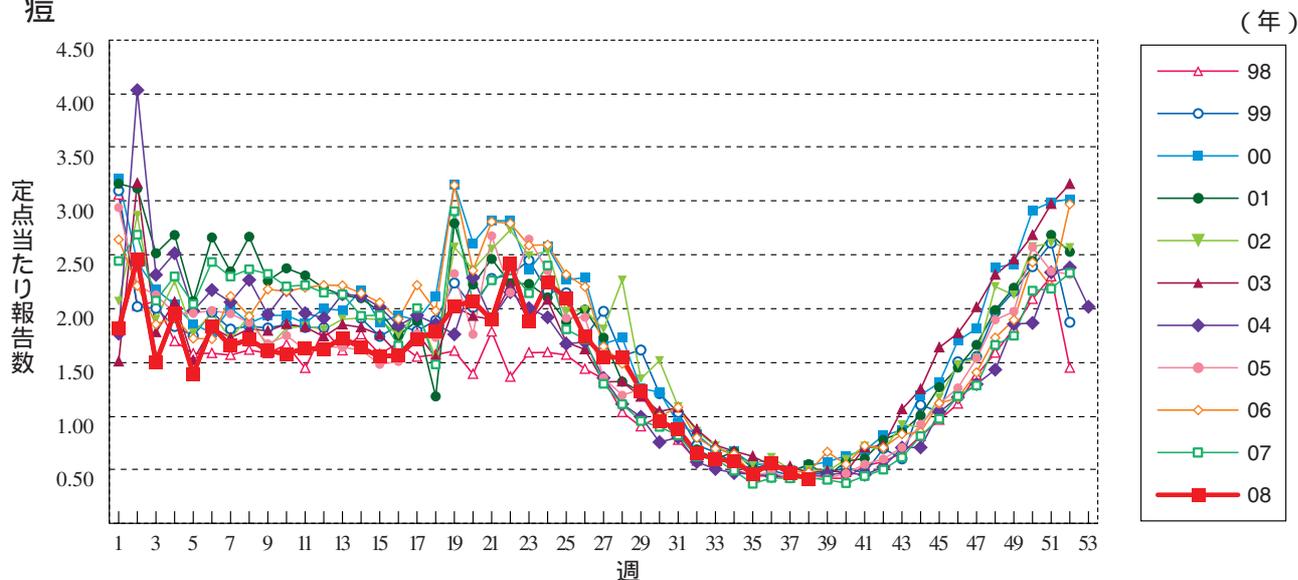
**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**



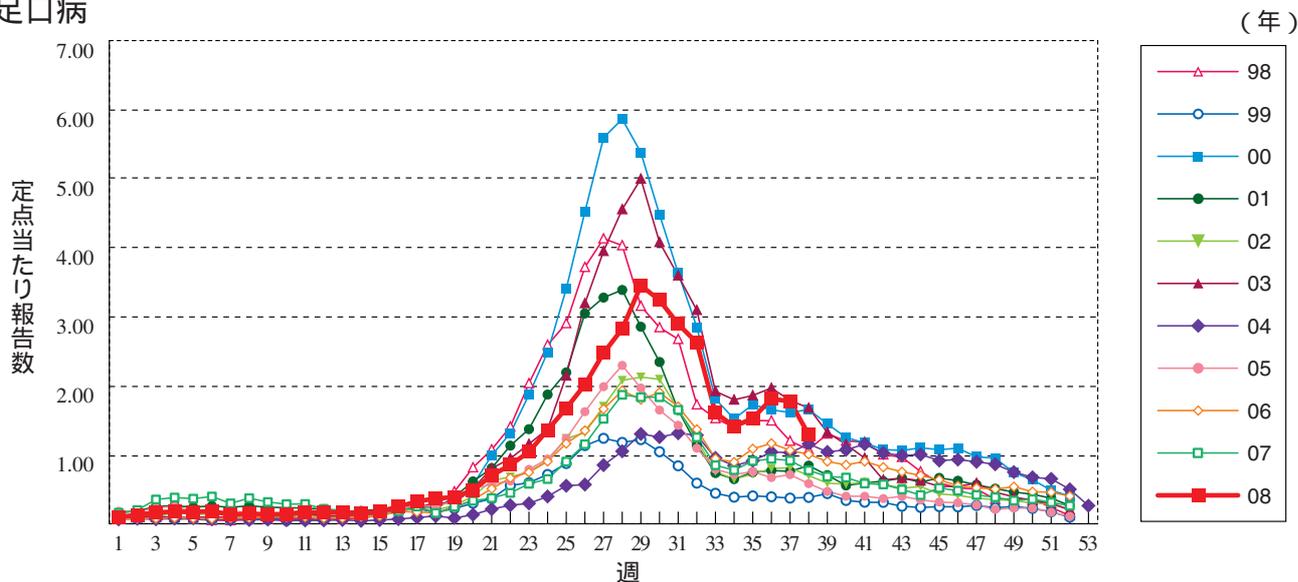
**感染性胃腸炎** 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



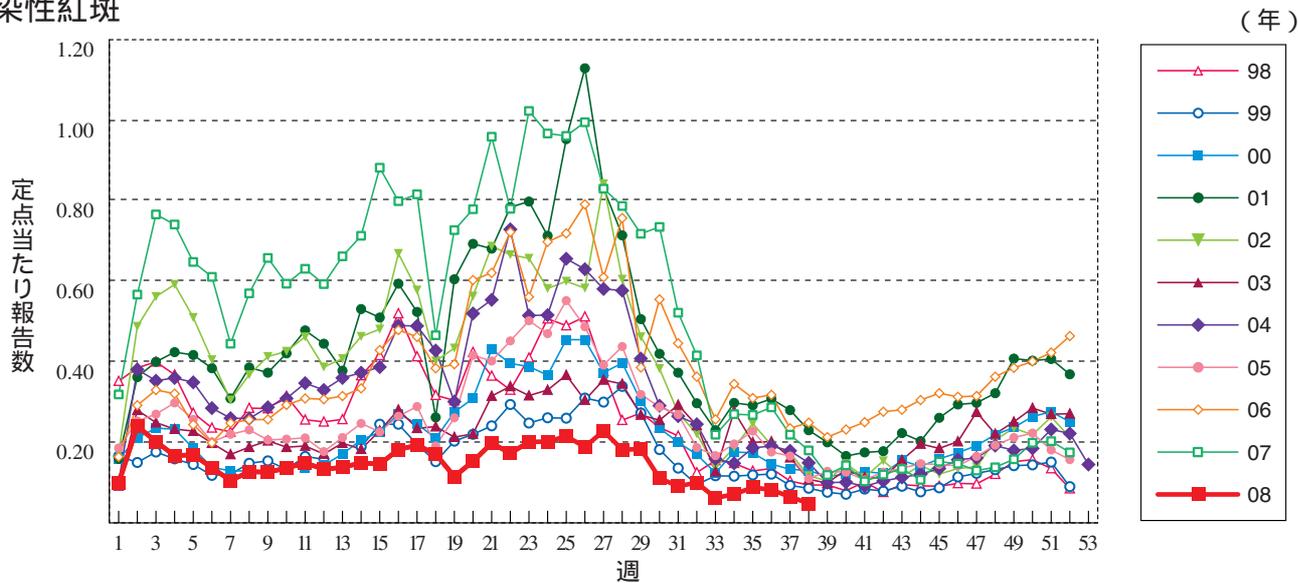
**水痘**



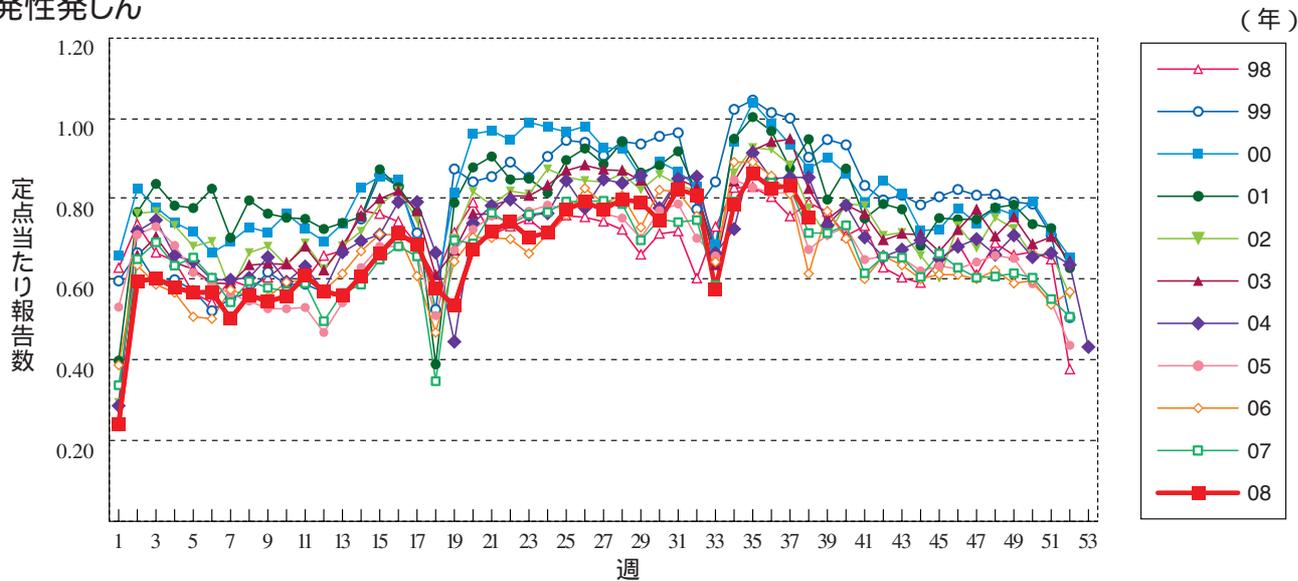
**手足口病**



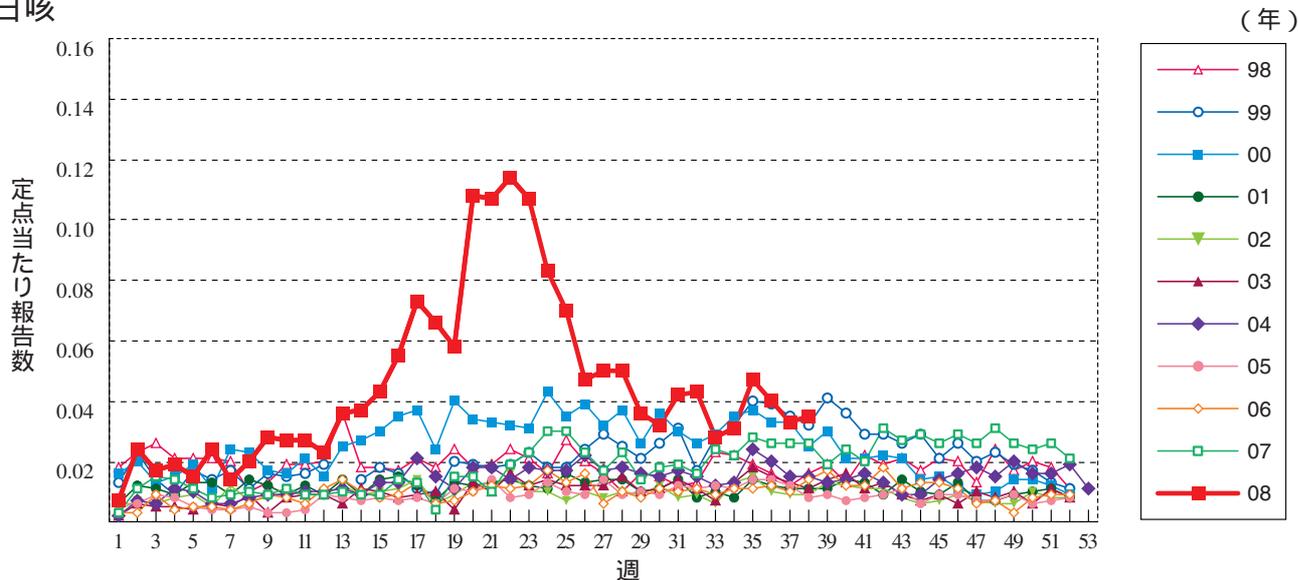
伝染性紅斑



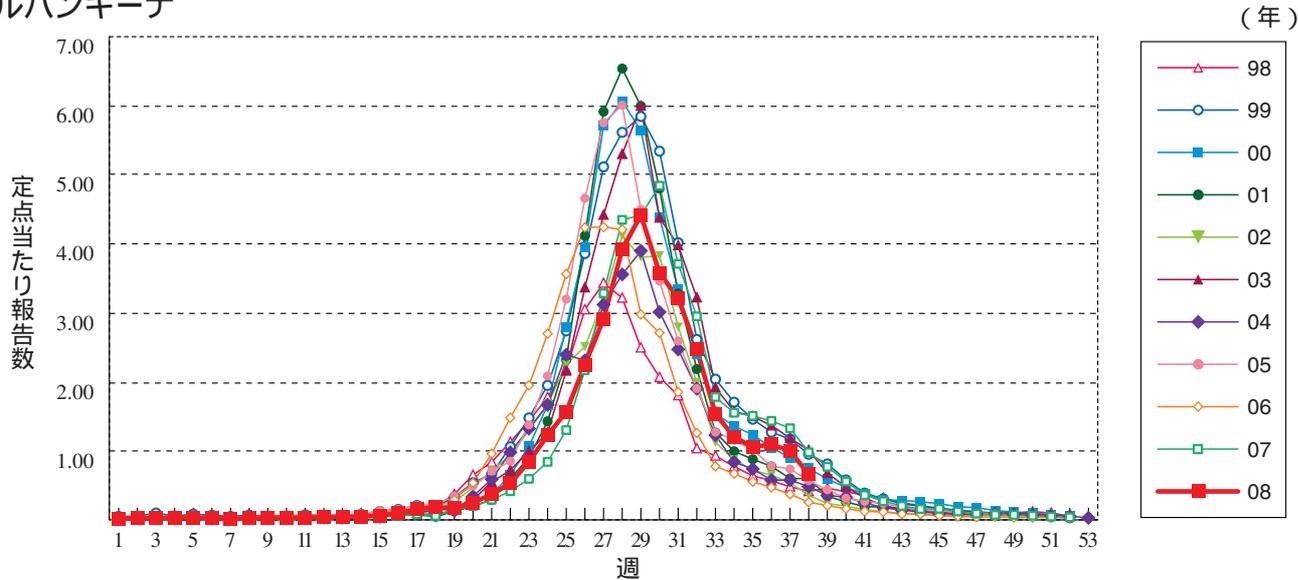
突発性発しん



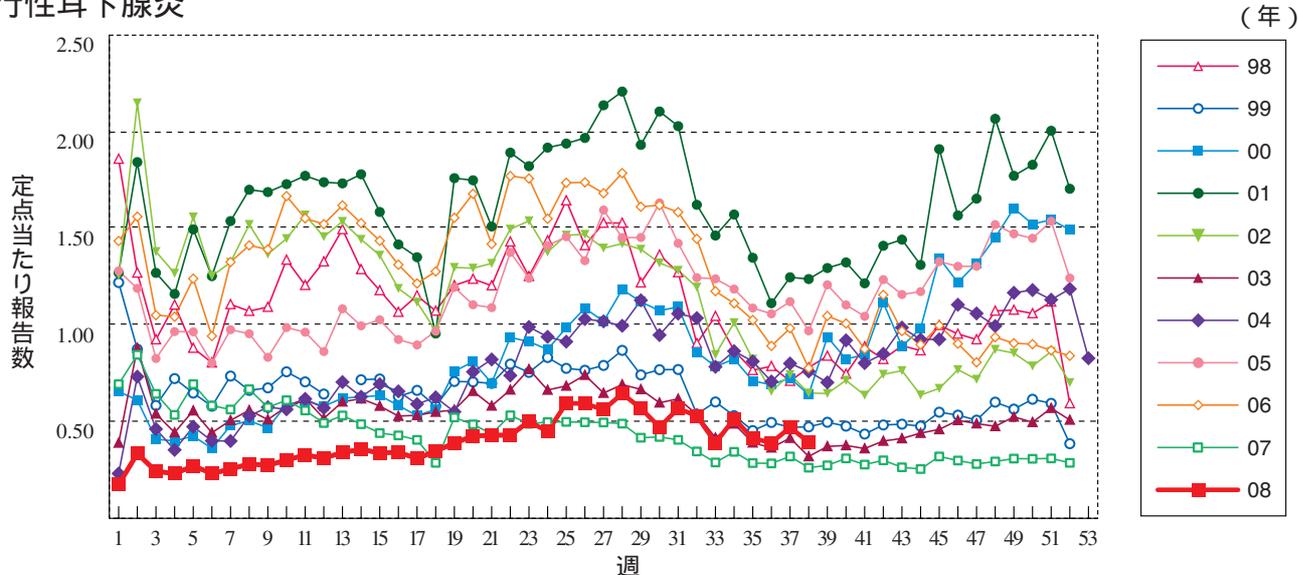
百日咳



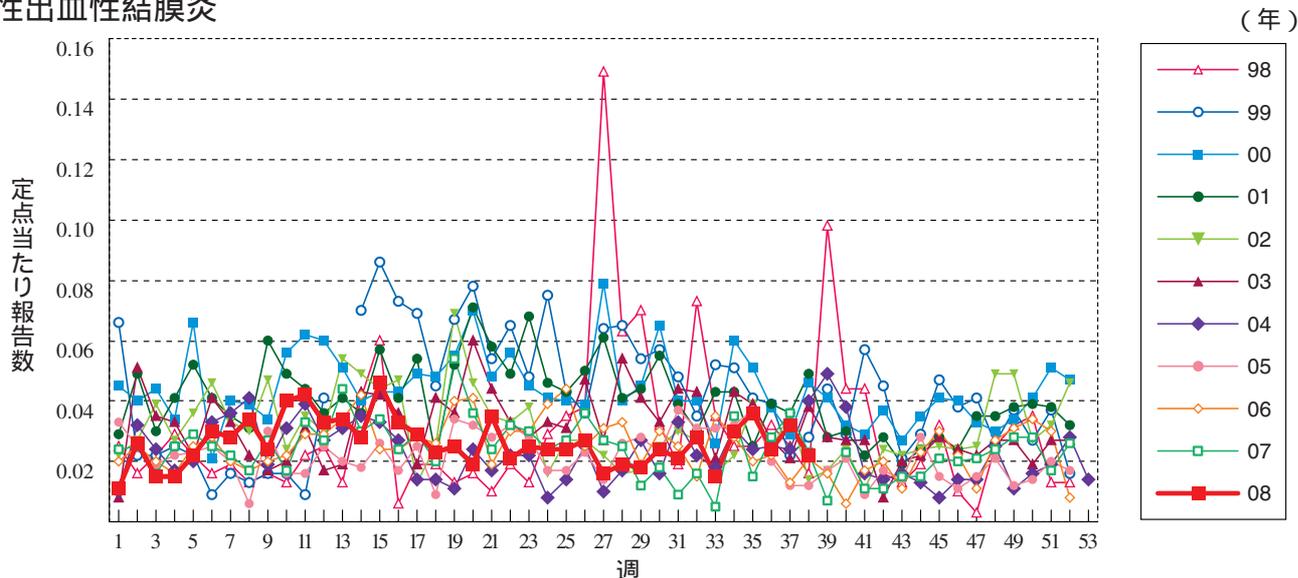
ヘルパンギーナ



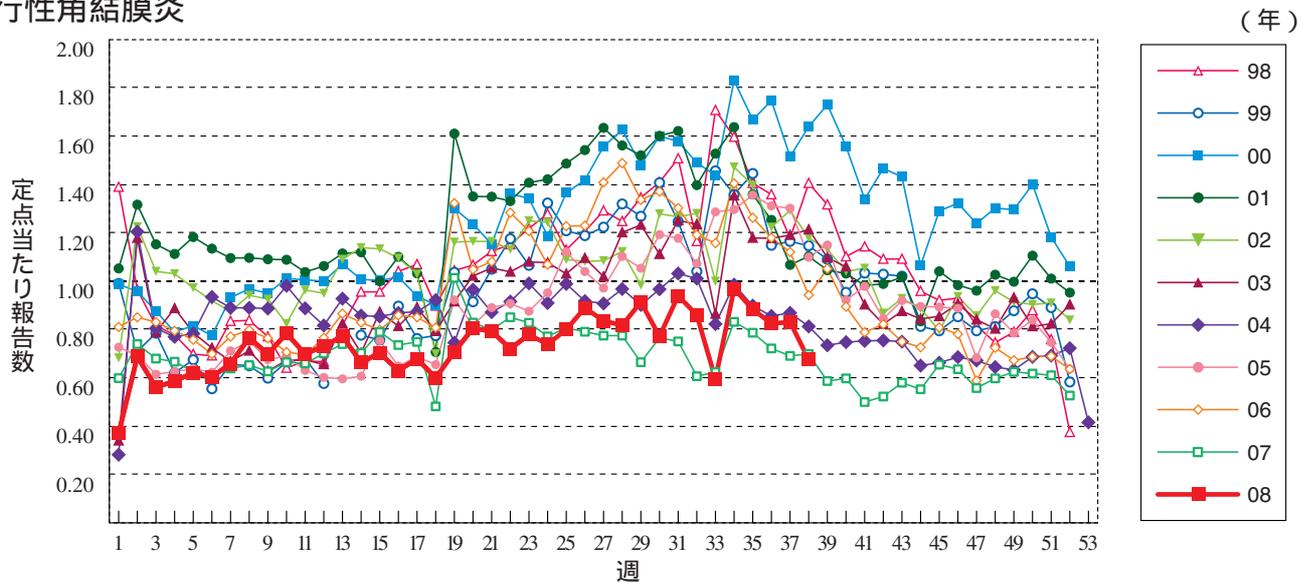
流行性耳下腺炎



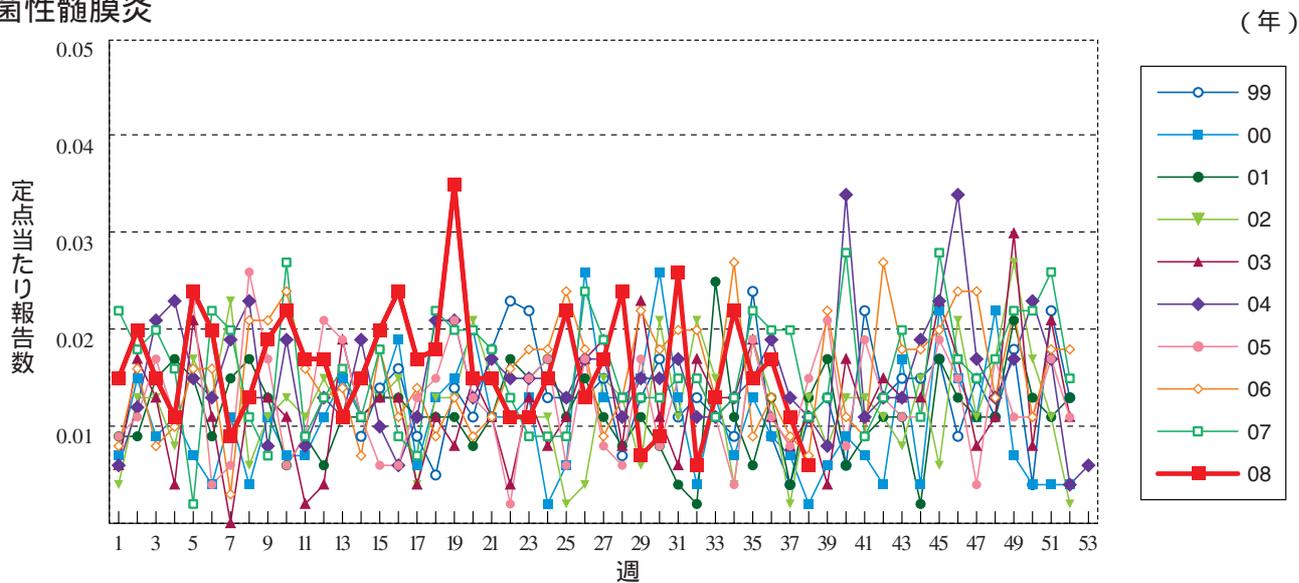
急性出血性結膜炎



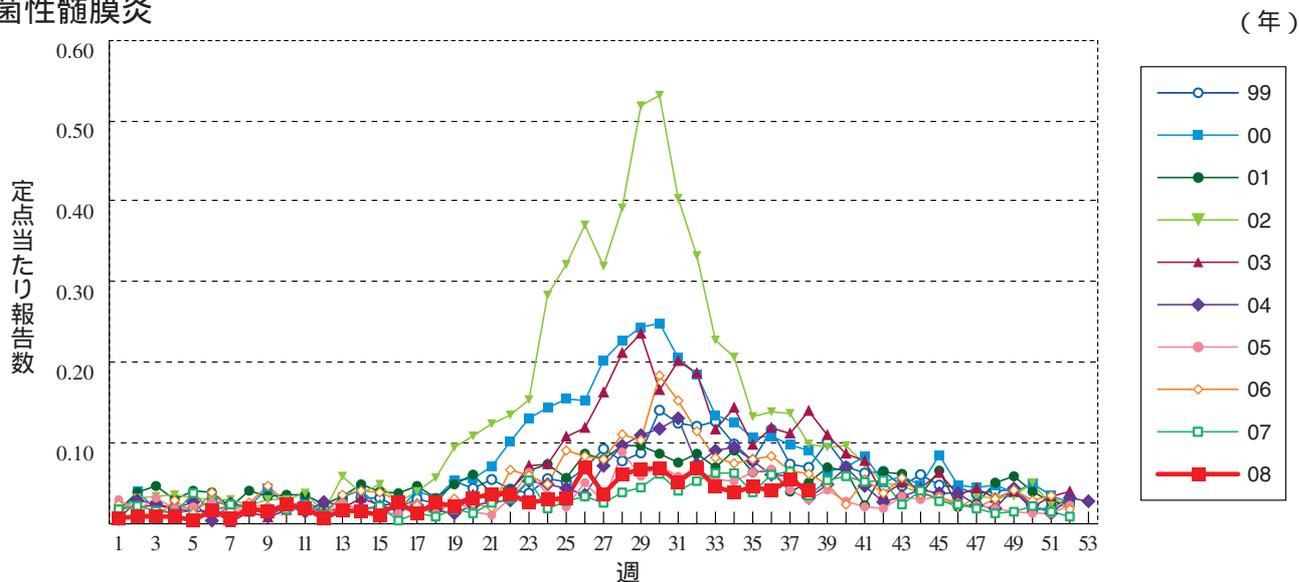
流行性角結膜炎



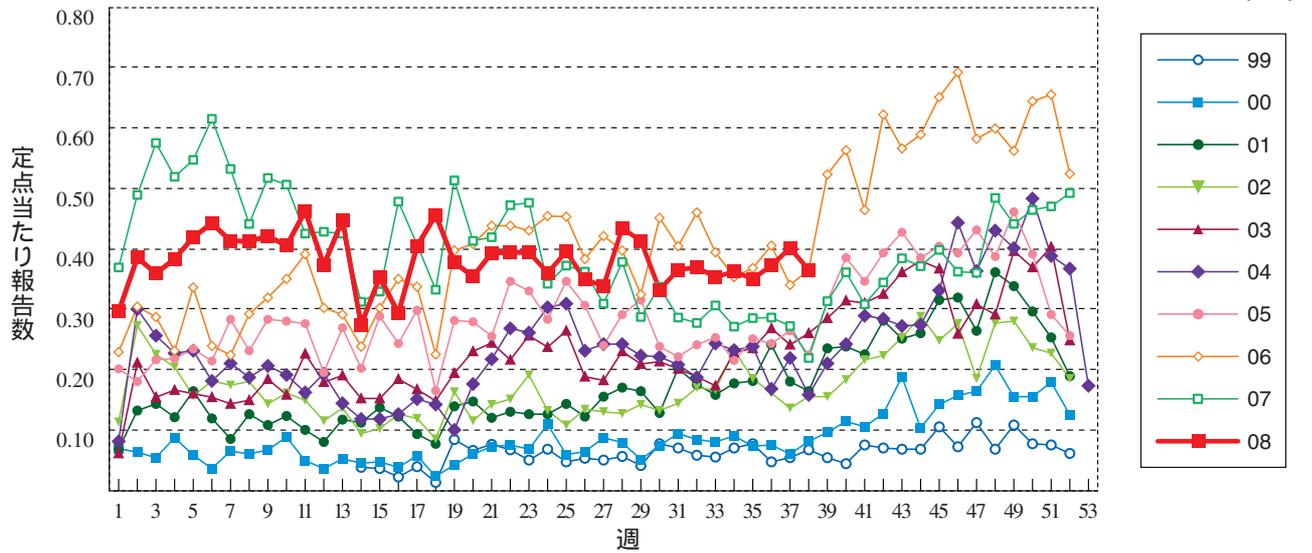
細菌性髄膜炎



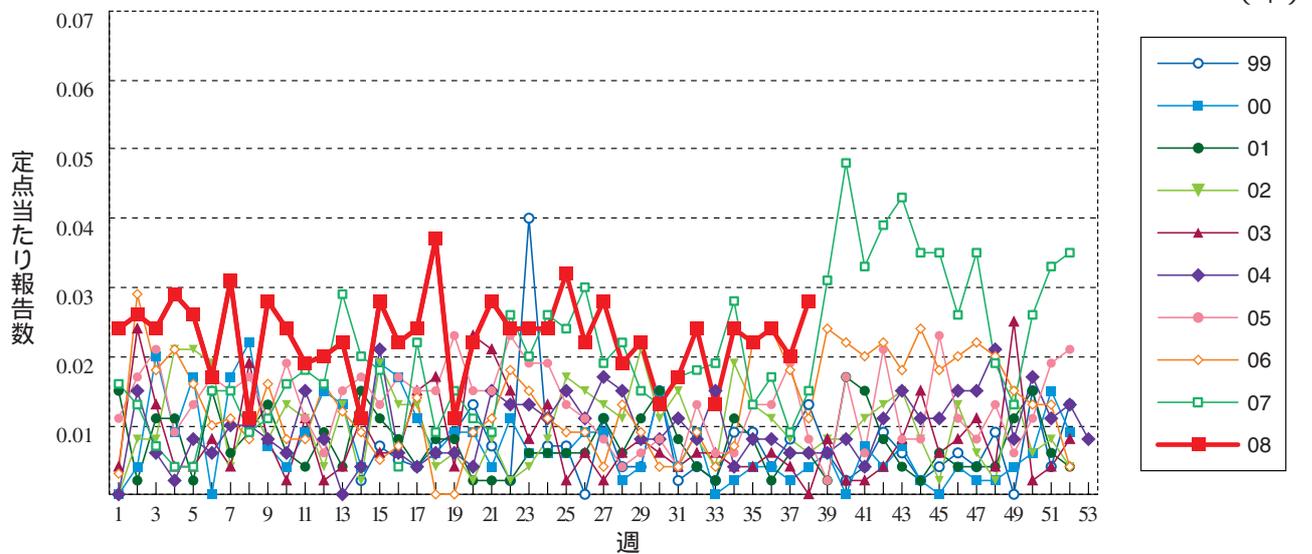
無菌性髄膜炎



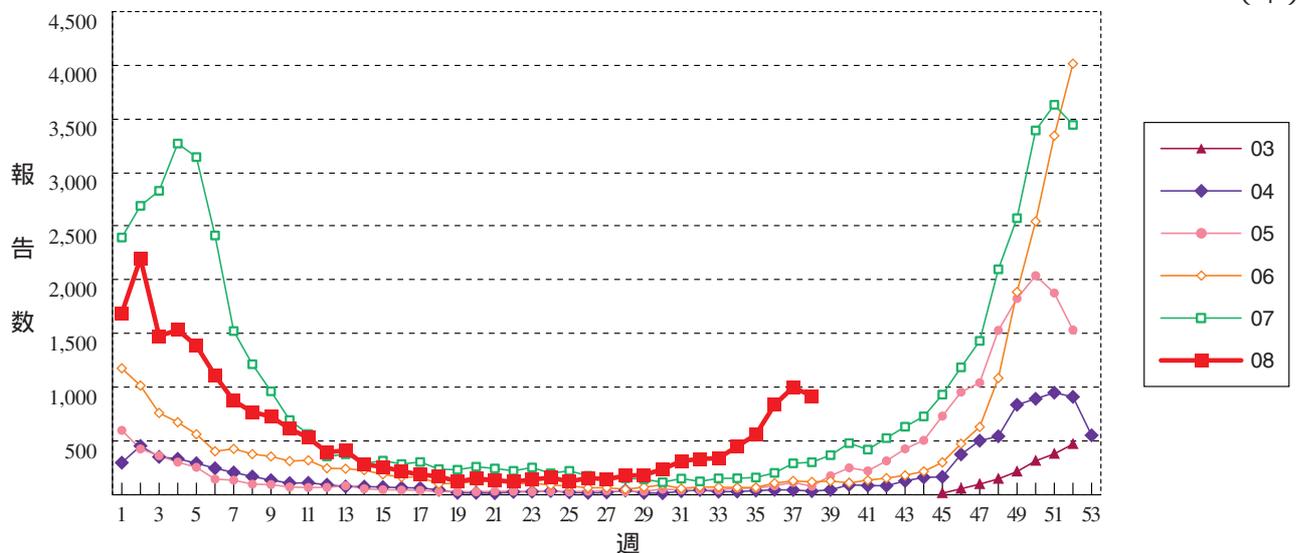
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎( オウム病を除く )



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





### 38週のデータ

注) 表中の報告数は9月24日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。  
2008年5月12日の法改正に伴い、疾病の名称および並び順を一部変更しました。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年38週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 瘡		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	196	19379
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8	507
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	361
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	156
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	289
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	173
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	219
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	407
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	237
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	135
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	961
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	990
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	36	3084
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	1004
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	255
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	142
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	125
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	102
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	54
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	194
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	320
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	522
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	1427
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	293
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	200
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	455
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1381
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	692
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	267
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	219
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	75
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	105
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	207
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	447
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	212
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	153
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	146
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	179
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	113
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	887
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	120
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	298
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	236
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	234
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	196
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	294
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	196

\*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年38週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ (H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	41		6	234	131	3403	1	36	-	23	-	33
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	78	-	2	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	58	149	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	4	-	7	5	72	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	66	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	72	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	36	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1	26	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	22	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	61	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	13	-	9	3	108	-	5	-	1	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	11	6	142	-	-	-	3	-	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	5	3	47	11	305	-	8	-	4	-	-	6
神奈川県	-	-	-	-	-	-	2	1	22	3	139	-	5	-	3	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	35	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	2	-	6	1	72	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	2	86	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	70	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	12	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	5	-	1	1	45	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	74	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	88	-	2	-	2	-	-	2
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1	125	-	1	-	2	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38	-	1	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	110	-	3	-	4	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	1	18	7	208	1	3	-	2	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	5	115	-	2	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	16	-	1	-	-	-	-	1
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	74	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	92	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	27	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	4	-	45	1	186	-	1	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	6	7	110	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	8	2	127	-	1	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	77	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	23	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	37	-	-	-	1	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	74	-	-	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	18	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年38週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回歸熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	2	139	-	10	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	2
北海道	-	-	-	5	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	1	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	13	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年38週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		つつが虫病		デング熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	123	2	66
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	23
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

\*鳥インフルエンザ H5N1 を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年38週

	東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	2	54	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	1	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

2008年38週

	ペネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症		リフトバレー熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	2	37	-	4	-	3	-	-	-	-	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	

\*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

\*\*ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2008年38週

	類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプトスポリジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	10	654	4	13	-	-	9	626	-	169	2	140	-	7	3	110
北海道	-	-	-	22	-	-	-	-	-	16	-	2	-	9	-	-	1	2
青森県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	4	-	2	-	1	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	15	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	1	3
宮城県	-	-	-	25	-	-	-	-	-	8	-	2	-	1	-	1	-	1
秋田県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-
福島県	-	-	-	5	-	-	-	-	-	9	-	-	-	3	-	1	-	1
茨城県	-	-	-	15	1	1	-	-	-	8	-	2	-	7	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	6	-	4	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	8	-	6	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	34	-	-	-	-	-	21	-	3	-	4	-	-	-	5
千葉県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	24	-	2	-	5	-	1	-	3
東京都	-	-	-	58	1	2	-	-	3	138	-	23	-	6	-	3	1	12
神奈川県	-	-	1	37	-	1	-	-	1	59	-	6	-	6	-	-	-	12
新潟県	-	-	1	26	-	-	-	-	-	7	-	1	-	3	-	-	-	2
富山県	-	-	-	15	-	-	-	-	-	3	-	1	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	7	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	3
福井県	-	-	-	3	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	2
山梨県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1
長野県	-	-	-	20	-	-	-	-	1	10	-	5	2	4	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	15	-	-	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	27	-	1	-	-	-	14	-	1	-	3	-	-	-	7
愛知県	-	-	2	45	-	-	-	-	1	39	-	8	-	9	-	-	-	6
三重県	-	-	1	12	-	-	-	-	-	7	-	4	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	-	2	9	-	-	-	-	-	6	-	3	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	19	-	-	-	-	-	18	-	4	-	1	-	-	-	2
大阪府	-	-	1	58	-	-	-	-	1	75	-	23	-	26	-	1	-	8
兵庫県	-	-	-	31	-	-	-	-	-	28	-	14	-	7	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	10	-	3	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	16	-	-	-	-	-	4	-	7	-	7	-	-	-	4
広島県	-	-	-	22	-	-	-	-	-	10	-	9	-	3	-	-	-	1
山口県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	6	-	1	-	1	-	-	-	2
徳島県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	8	-	4	-	-	-	-	-	2
高知県	-	-	1	6	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
福岡県	-	-	1	15	-	-	-	-	-	25	-	11	-	3	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	6	-	-	-	6	-	-	-	2
大分県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	2	-	1	-	-	-	2	-	5	-	1	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	8	-	-	-	-	1	3	-	-	-	4	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	6	2	7	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年38週

	劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	90	19	1103	-	62	-	10	-	1	6	602	-	85	-	-	2	61
北海道	-	1	-	20	-	1	-	1	-	-	-	9	-	7	-	-	-	4
青森県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
岩手県	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-
山形県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-
福島県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	1	-	14	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	-
栃木県	-	2	1	17	-	-	-	-	-	-	-	6	-	3	-	-	-	1
群馬県	-	-	1	13	-	1	-	-	-	-	1	7	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	3	2	30	-	2	-	1	-	-	-	23	-	3	-	-	-	7
千葉県	-	2	2	37	-	6	-	1	-	-	-	18	-	7	-	-	-	1
東京都	-	16	5	384	-	19	-	2	-	-	1	141	-	4	-	-	-	10
神奈川県	-	4	1	57	-	9	-	-	-	1	-	22	-	4	-	-	-	7
新潟県	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1
富山県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	4	1	9	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	11	-	1	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	1
静岡県	-	2	-	21	-	-	-	-	-	-	-	30	-	3	-	-	-	7
愛知県	1	8	2	84	-	1	-	-	-	-	1	48	-	8	-	-	1	5
三重県	-	3	-	7	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	10	-	1	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
京都府	-	-	-	19	-	1	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	8	2	161	-	7	-	1	-	-	2	53	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	10	-	29	-	2	-	1	-	-	-	11	-	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	1	-	3	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
岡山県	-	1	-	11	-	2	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	1
広島県	-	2	1	20	-	2	-	-	-	-	1	9	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	1
徳島県	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1
香川県	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
福岡県	-	5	-	30	-	2	-	-	-	-	-	61	-	2	-	-	-	3
佐賀県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	5	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3	-	-	-	-
熊本県	-	2	-	11	-	1	-	-	-	-	-	28	-	1	-	-	-	2
大分県	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-
宮崎県	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-	-	-
鹿児島県	-	3	1	7	-	-	-	1	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-

報告数・累積報告数，疾病・都道府県別 2008年38週

	風しん		麻疹	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	274	15	10794
北海道	-	11	-	1453
青森県	-	1	-	62
岩手県	-	2	-	9
宮城県	-	3	-	21
秋田県	-	1	-	157
山形県	-	-	-	15
福島県	-	2	-	23
茨城県	-	5	1	94
栃木県	-	5	1	39
群馬県	-	1	-	83
埼玉県	-	8	1	376
千葉県	-	10	2	1032
東京都	1	38	1	1148
神奈川県	-	32	2	3515
新潟県	-	-	-	41
富山県	-	3	-	7
石川県	-	-	-	7
福井県	-	-	-	17
山梨県	-	-	1	27
長野県	-	13	-	58
岐阜県	-	1	-	18
静岡県	-	17	-	245
愛知県	-	3	-	190
三重県	-	5	-	43
滋賀県	-	2	-	38
京都府	-	1	-	193
大阪府	-	20	2	377
兵庫県	-	14	1	138
奈良県	-	2	-	12
和歌山県	-	2	-	36
鳥取県	-	-	-	6
島根県	-	4	-	4
岡山県	-	13	-	130
広島県	-	14	-	148
山口県	-	-	-	17
徳島県	-	1	-	3
香川県	-	1	-	10
愛媛県	-	1	-	40
高知県	-	1	-	5
福岡県	-	21	2	670
佐賀県	-	-	-	6
長崎県	-	3	-	32
熊本県	-	7	-	87
大分県	-	2	-	90
宮崎県	-	1	-	9
鹿児島県	-	2	1	24
沖縄県	-	1	-	39

\*鳥インフルエンザおよび新型インフルエンザ等感染症を除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年38週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	39	0.01	928	0.31	2427	0.81	8215	2.74	1241	0.41	3873	1.29	143	0.05	2264	0.75	106	0.04
北海道	2	0.01	28	0.20	181	1.27	144	1.01	48	0.34	371	2.61	2	0.01	81	0.57	4	0.03
青森県	-	-	11	0.26	24	0.57	58	1.38	13	0.31	86	2.05	-	-	26	0.62	1	0.02
岩手県	-	-	-	-	14	0.35	74	1.85	17	0.43	26	0.65	1	0.03	18	0.45	1	0.03
宮城県	-	-	3	0.05	45	0.75	147	2.45	16	0.27	130	2.17	5	0.08	39	0.65	2	0.03
秋田県	-	-	5	0.14	26	0.74	64	1.83	15	0.43	26	0.74	-	-	15	0.43	6	0.17
山形県	-	-	6	0.20	32	1.07	87	2.90	25	0.83	23	0.77	2	0.07	25	0.83	-	-
福島県	-	-	10	0.21	34	0.71	84	1.75	13	0.27	45	0.94	5	0.10	43	0.90	1	0.02
茨城県	-	-	16	0.21	58	0.77	98	1.31	16	0.21	91	1.21	4	0.05	35	0.47	1	0.01
栃木県	4	0.05	3	0.06	44	0.92	71	1.48	20	0.42	29	0.60	-	-	34	0.71	4	0.08
群馬県	-	-	26	0.42	41	0.66	196	3.16	43	0.69	65	1.05	3	0.05	29	0.47	-	-
埼玉県	-	-	62	0.41	166	1.08	527	3.44	64	0.42	133	0.87	9	0.06	120	0.78	5	0.03
千葉県	-	-	16	0.13	159	1.28	303	2.44	49	0.40	99	0.80	16	0.13	91	0.73	13	0.10
東京都	7	0.03	37	0.26	109	0.78	441	3.15	50	0.36	146	1.04	10	0.07	113	0.81	3	0.02
神奈川県	-	-	36	0.18	193	0.97	533	2.67	66	0.33	373	1.87	12	0.06	157	0.79	6	0.03
新潟県	1	0.01	47	0.77	43	0.70	85	1.39	48	0.79	368	6.03	6	0.10	48	0.79	2	0.03
富山県	-	-	8	0.28	44	1.52	96	3.31	20	0.69	24	0.83	-	-	21	0.72	-	-
石川県	-	-	4	0.14	17	0.59	85	2.93	10	0.34	33	1.14	-	-	26	0.90	-	-
福井県	-	-	6	0.27	20	0.91	128	5.82	9	0.41	28	1.27	-	-	21	0.95	1	0.05
山梨県	-	-	4	0.17	17	0.74	27	1.17	5	0.22	7	0.30	-	-	9	0.39	1	0.04
長野県	1	0.01	14	0.25	60	1.09	144	2.62	13	0.24	107	1.95	1	0.02	24	0.44	3	0.05
岐阜県	-	-	4	0.08	15	0.28	63	1.19	29	0.55	77	1.45	-	-	30	0.57	3	0.06
静岡県	1	0.01	69	0.80	95	1.10	293	3.41	41	0.48	125	1.45	2	0.02	69	0.80	1	0.01
愛知県	1	0.01	46	0.26	168	0.94	432	2.43	66	0.37	212	1.19	3	0.02	159	0.89	5	0.03
三重県	-	-	33	0.73	25	0.56	165	3.67	21	0.47	60	1.33	1	0.02	39	0.87	-	-
滋賀県	-	-	8	0.24	7	0.21	106	3.21	10	0.30	20	0.61	-	-	13	0.39	-	-
京都府	-	-	10	0.14	30	0.41	203	2.74	14	0.19	41	0.55	4	0.05	39	0.53	1	0.01
大阪府	-	-	61	0.32	193	1.03	577	3.07	81	0.43	122	0.65	10	0.05	129	0.69	6	0.03
兵庫県	2	0.01	26	0.20	53	0.41	375	2.91	48	0.37	155	1.20	7	0.05	106	0.82	6	0.05
奈良県	-	-	6	0.17	13	0.37	90	2.57	5	0.14	36	1.03	-	-	11	0.31	-	-
和歌山県	-	-	10	0.32	10	0.32	55	1.77	15	0.48	4	0.13	1	0.03	28	0.90	1	0.03
鳥取県	1	0.03	9	0.47	34	1.79	72	3.79	19	1.00	5	0.26	-	-	9	0.47	-	-
島根県	1	0.03	10	0.43	28	1.22	106	4.61	5	0.22	10	0.43	2	0.09	22	0.96	-	-
岡山県	-	-	9	0.17	18	0.33	212	3.93	15	0.28	102	1.89	5	0.09	29	0.54	2	0.04
広島県	-	-	15	0.21	36	0.51	196	2.76	35	0.49	45	0.63	10	0.14	59	0.83	7	0.10
山口県	-	-	4	0.08	47	0.94	171	3.42	23	0.46	63	1.26	1	0.02	51	1.02	-	-
徳島県	-	-	2	0.09	5	0.23	41	1.86	6	0.27	6	0.27	-	-	7	0.32	-	-
香川県	-	-	6	0.21	8	0.29	99	3.54	12	0.43	24	0.86	-	-	20	0.71	-	-
愛媛県	-	-	23	0.62	30	0.81	121	3.27	21	0.57	77	2.08	2	0.05	45	1.22	2	0.05
高知県	-	-	23	0.77	10	0.33	54	1.80	7	0.23	19	0.63	-	-	22	0.73	1	0.03
福岡県	1	0.01	50	0.42	101	0.84	499	4.16	63	0.53	121	1.01	6	0.05	137	1.14	11	0.09
佐賀県	-	-	11	0.48	10	0.43	32	1.39	9	0.39	39	1.70	1	0.04	29	1.26	-	-
長崎県	-	-	26	0.59	10	0.23	90	2.05	11	0.25	40	0.91	-	-	29	0.66	-	-
熊本県	-	-	20	0.42	22	0.46	195	4.06	31	0.65	146	3.04	1	0.02	62	1.29	-	-
大分県	-	-	22	0.61	57	1.58	192	5.33	18	0.50	18	0.50	1	0.03	38	1.06	-	-
宮崎県	-	-	29	0.81	37	1.03	195	5.42	38	1.06	6	0.17	3	0.08	46	1.28	2	0.06
鹿児島県	-	-	46	0.84	29	0.53	138	2.51	17	0.31	63	1.15	5	0.09	42	0.76	1	0.02
沖縄県	17	0.29	8	0.24	9	0.26	51	1.50	21	0.62	27	0.79	2	0.06	19	0.56	3	0.09

\*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2008年38週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	1984	0.66	1186	0.40	15	0.02	451	0.68	3	0.01	19	0.04	169	0.37	13	0.03	919
北海道	269	1.89	13	0.09	2	0.07	6	0.21	-	-	-	-	4	0.17	-	-	30
青森県	64	1.52	9	0.21	-	-	7	0.64	-	-	-	-	7	1.17	-	-	6
岩手県	38	0.95	11	0.28	-	-	5	0.36	-	-	-	-	8	0.40	-	-	-
宮城県	98	1.63	12	0.20	4	0.33	3	0.25	-	-	-	-	27	2.25	-	-	10
秋田県	40	1.14	18	0.51	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-	-	-	2
山形県	94	3.13	8	0.27	-	-	3	0.38	-	-	-	-	3	0.30	-	-	1
福島県	86	1.79	18	0.38	-	-	21	1.75	-	-	-	-	12	1.71	1	0.14	15
茨城県	14	0.19	9	0.12	-	-	19	1.12	-	-	-	-	3	0.23	-	-	-
栃木県	20	0.42	15	0.31	-	-	6	0.50	-	-	2	0.29	6	0.86	-	-	6
群馬県	31	0.50	72	1.16	-	-	27	1.93	-	-	3	0.38	5	0.63	-	-	-
埼玉県	101	0.66	69	0.45	-	-	24	0.57	-	-	-	-	2	0.22	4	0.44	10
千葉県	53	0.43	50	0.40	1	0.03	19	0.58	-	-	-	-	1	0.11	1	0.11	9
東京都	74	0.53	88	0.63	-	-	9	0.24	-	-	1	0.04	6	0.25	1	0.04	40
神奈川県	128	0.64	38	0.19	-	-	25	0.66	1	0.13	1	0.13	1	0.13	-	-	7
新潟県	151	2.48	6	0.10	-	-	2	0.20	-	-	1	0.08	3	0.25	4	0.33	9
富山県	22	0.76	2	0.07	-	-	1	0.14	-	-	-	-	11	2.20	-	-	2
石川県	8	0.28	4	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	18
福井県	11	0.50	18	0.82	-	-	-	-	1	0.17	-	-	2	0.33	-	-	14
山梨県	6	0.26	2	0.09	-	-	2	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	82	1.49	19	0.35	-	-	2	0.18	-	-	-	-	3	0.27	-	-	3
岐阜県	12	0.23	48	0.91	-	-	3	0.30	-	-	-	-	1	0.20	-	-	3
静岡県	40	0.47	30	0.35	-	-	16	0.80	-	-	-	-	3	0.33	-	-	5
愛知県	29	0.16	102	0.57	-	-	16	0.50	-	-	-	-	4	0.27	1	0.07	23
三重県	10	0.22	12	0.27	-	-	5	0.42	-	-	-	-	1	0.11	-	-	5
滋賀県	11	0.33	29	0.88	-	-	1	0.13	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-	-
京都府	22	0.30	13	0.18	-	-	10	0.56	-	-	-	-	1	0.14	1	0.14	5
大阪府	66	0.35	81	0.43	2	0.04	15	0.32	-	-	-	-	7	0.50	-	-	126
兵庫県	33	0.26	42	0.33	-	-	24	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	44
奈良県	8	0.23	24	0.69	-	-	1	0.11	-	-	1	0.17	1	0.17	-	-	6
和歌山県	24	0.77	3	0.10	3	0.75	7	1.75	-	-	1	0.09	1	0.09	-	-	9
鳥取県	2	0.11	4	0.21	-	-	2	0.67	-	-	-	-	2	0.40	-	-	-
島根県	9	0.39	3	0.13	-	-	12	4.00	-	-	-	-	2	0.25	-	-	1
岡山県	14	0.26	16	0.30	2	0.17	8	0.67	-	-	-	-	3	0.60	-	-	1
広島県	19	0.27	9	0.13	1	0.05	10	0.53	-	-	-	-	5	0.24	-	-	15
山口県	23	0.46	14	0.28	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.22	-	-	48
徳島県	6	0.27	4	0.18	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	34
香川県	9	0.32	1	0.04	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	20
愛媛県	8	0.22	15	0.41	-	-	15	1.88	-	-	1	0.17	3	0.50	-	-	3
高知県	5	0.17	39	1.30	-	-	4	1.33	-	-	-	-	1	0.14	-	-	5
福岡県	83	0.69	80	0.67	-	-	20	0.77	-	-	-	-	-	-	-	-	250
佐賀県	30	1.30	17	0.74	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67	-	-	41
長崎県	14	0.32	17	0.39	-	-	7	0.88	-	-	2	0.17	-	-	-	-	20
熊本県	37	0.77	13	0.27	-	-	47	5.22	-	-	-	-	-	-	-	-	11
大分県	28	0.78	9	0.25	-	-	4	0.80	-	-	1	0.09	-	-	-	-	26
宮崎県	30	0.83	62	1.72	-	-	7	1.17	-	-	1	0.14	1	0.14	-	-	10
鹿児島県	17	0.31	11	0.20	-	-	15	2.14	-	-	-	-	3	0.25	-	-	22
沖縄県	5	0.15	7	0.21	-	-	13	1.30	1	0.14	3	0.43	18	2.57	-	-	4

## 獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2008年38週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群( SARS )						結核		鳥インフルエンザ( H5N1 )		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	24	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2008年38週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第10巻 第38号 2008年10月3日発行  
 発行：国立感染症研究所  
 厚生労働省健康局結核感染症課  
 厚生労働省大臣官房統計情報部  
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター  
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1  
 T E L : 03-5285-1111  
 F A X : 03-5285-1129  
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>  
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >  
<http://www.mhlw.go.jp/>  
 < 厚生労働省 >  
<http://www.forth.go.jp/>  
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。